

歯科医療の展開：642-5-DP1・DP3・DP4・DP5・DP6・DP7・DP8

年次	学期	学則科目責任者
5年次	前学期	5年次学年教育主任

<p>学修目標 (GIO) と 単位数</p>	<p>・単位数：4</p> <p>・学修目標 (GIO)：臨床実習を効果的に学修するために、臨床科目に関する基礎学力向上と診療参加型臨床実習に対する解決能力を養い、併せて保健・医療と健康管理・増進に関する知識を修得する。</p>
<p>講義実施要項</p>	<p>期 間：令和2年4月2日(木)～9月30日(水) 時 間：午前8時40分～9時40分 (試験は別に示す) 会 場：401教室 講 義：以下のテーマより9つのユニットから構成される。</p> <p>ユニット1：診断情報収集と診療の流れ オーガナイザー： 洲上 真奈 ユニット2：成長・発育 オーガナイザー： 清水 武彦 ユニット3：加齢と歯の欠損 オーガナイザー： 飯島 守雄 ユニット4：齶蝕と硬組織欠損 オーガナイザー： 神谷 直孝 ユニット5：炎症 オーガナイザー： 高井 英樹 ユニット6：検査と全身管理□ オーガナイザー： 下坂 典立 ユニット7：嚢胞・腫瘍 オーガナイザー： 山本 泰 ユニット8：保健・医療と健康管理・増進 オーガナイザー： 田口 千恵子 ユニット9：正答率8割問題解説□ オーガナイザー： 清水 武彦</p> <p>講義内容： ユニット1：臨床実習開始に当たり患者情報の収集と各種検査法、各診療科における診療の流れおよび使用する器材・薬剤について講義する。 ユニット2～7：各ユニットはテーマに基づいて①正常構造と機能→②病因、病態→③診察、検査法→④治療法を学び、さらに臨床における主訴・症状・徴候から適切な診断と処置方針の立案について講義を行う。 ユニット8：国家試験出題基準の歯科医学総論の保健・医療と健康管理・増進についての講義を行う。併せて、歯科英語の講義を行う。 ユニット9：歯科基礎医学科目の正答率8割問題解説および関連分野の講義を行う。</p>
<p>評価方法 (EV)</p>	<p>平常試験実施要項 試験区分(ユニット) 実施日□ 試験時間(8:40～) □問題形式</p> <p>平常試験①(ユニット1,8) 4/23(木) □90分□筆記, MCQ 平常試験⑨-A(ユニット9) □5/9(土) □70分□MCQ(100問) 平常試験②(ユニット2,8) 5/22(金) □70分□筆記, MCQ 平常試験⑨-B(ユニット9) □6/4(木) □70分□MCQ(100問) 平常試験③(ユニット3,8) 6/17(水) □85分□筆記, MCQ 平常試験⑨-C(ユニット9) □6/27(土) □70分□MCQ(100問) 平常試験④(ユニット4,8) 7/6(月) □70分□筆記, MCQ 平常試験⑤(ユニット5,8) 7/22(水) □70分□筆記, MCQ 平常試験⑨-D(ユニット9) □8/18(火) □70分□MCQ(100問) 平常試験⑥(ユニット6,8) 8/29(土) □70分□筆記, MCQ 平常試験⑦(ユニット7) □9/11(金) □65分□筆記, MCQ 平常試験⑧(ユニット2～8) 9/17(木) □8:40～10:20(100分) MCQ(80問) 10:50～12:30(100分) □MCQ(80問)</p> <p>合格基準 平常試験の評価割合を以下のようにする。 ①：診断情報収集と診療の流れ5% ②：成長・発育□□11% ③：加齢と歯の欠損□□11% ④：齶蝕と硬組織欠損□□11% ⑤：炎症□□11% ⑥：検査と全身管理□10% ⑦：嚢胞・腫瘍□□10% ⑧：まとめ試験□□20% ⑨：正答率8割問題□11% 以上の合計正答率が65%以上の者を「歯科医療の展開」の合格者とする。</p> <p>再試験について ①上記合格基準に満たない者について実施する。なお、再試験の追試験は行わない。 ②実施日時：令和2年9月29日(火) 8:50～10:10 (80分) ③ユニット2～8の講義内容に関する筆記試験問題とする。 ④再試験の正答率が65%以上の者を合格者とする。なお、平常試験の結果を合格判定に加味できる。 ⑤病欠(診断書を要する)など正当な理由なく講義日数の1/5を超えて欠席した者は再試験の受験資格が与えられない。</p>

診断情報収集と診療の流れ

年次	学期	学修ユニット責任者
5年次	前学期	* 瀧上 真奈 (歯科臨床検査医学)

学修ユニット 学修目標 (GIO)	各診療科における診療の流れと使用する器材・薬剤について説明できる。
担当教員	* 瀧上 真奈、* 内田 貴之、* 石井 智浩、* 大久保 昌和、* 岡部 達、* 中山 洋平、* 下坂 典立、* 清水 邦彦、* 伊藤 政之、* 平原 尚久、* 大村 祐史、* 寺中 文子、* 伊澤 万貴子、* 根岸 慎一、* 山口 秀紀
評価方法 (EV)	平常試験①で評価する。

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2020/04/02 (木) 1時限 08:40～09:40	POSに基づく問題志向型診療録の記載	<p>【授業の一般目標】 患者が抱える健康に関する問題を解決するために、POSに基づく問題志向型診療録 (POMR) の記載方法を修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 当院における診療システム、特にSD診療に関して説明できる。 3. POMRの意義について説明できる。 4. POMRの構成を説明できる。 5. POMRの記載方法を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：4年次医療行動科学8における問題志向型診療録の例示「松戸太郎」を一度読んでから、必ず持参して授業を受けること。 ・事前学修時間：20分 ・事後学修項目：当日配布するプリントと合わせて授業内容について必ず理解してから臨床実習に臨む。 ・事後学修時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 401教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 9 診察の基本 ウ 医療面接 a 意義、目的 (医療情報の収集・提供、患者歯科医師関係の確立、患者の指導、動機付け、治療への参加)</p> <p>【コアカリキュラム】 A 歯科医師として求められる基本的な資質・能力 A-4 コミュニケーション能力 A-4-2) 患者と歯科医師の関係 ③患者の心理的・社会的背景や自立した生活を送るための課題を把握し、抱える問題点を抽出・整理できる。 E 臨床歯学 E-1 診療の基本 E-1-1) 診察の基本 ⑦問題志向型診療記録 (problem-oriented medical record <POMR>) を説明できる</p>	* 内田 貴之
2020/04/04 (土) 1時限 08:40～09:40	臨床検査の基礎、検査結果の読み方	<p>【授業の一般目標】 全身状態を有する患者の歯科治療を安全に行うために、臨床検査の基礎、検査値および検査結果の読み方を理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 臨床検査の意義を述べられる。 3. 全身状態の診断に必要な検査項目と意義を述べられる。 4. 各臨床検査の基準値を知り、重要な異常値の意味を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：検査項目と基準値を事前に確認する。4年次で使用した臨床検査学のノートを見直し、授業時に持参すること。 ・事前学修時間：40分 ・事後学修項目：授業時に配布したプリントを理解する。 ・事後学修時間：1時間</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 401教室、パワーポイント、プリント</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】</p>	* 瀧上 真奈

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2020/04/04 (土) 1時限 08:40～09:40	臨床検査の基礎、 検査結果の読み方	401教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 10 検査・臨床判断の基本 エ 検体検査の種類 a 一般臨床検査 【国家試験出題基準（副）】 必修の基本的事項 10 検査・臨床判断の基本 ウ 基準値と結果の解釈 a 基準範囲の概念 b 生理的変動、異常値と原因 歯科医学総論 総論VI 検査 3 検体検査 ア 検体検査 b 血液学検査 歯科医学各論 各論III 顎・口腔領域の疾患 4 主として全身に関連する疾患の病態・診断・治療 サ 赤血球系疾患・白血球系疾患・出血性素因の診断と患者に対する観血的治療、歯科治療時の留意点	* 洲上 真奈
2020/04/06 (月) 1時限 08:40～09:40	画像検査の基本	【授業の一般目標】 顎顔面領域の画像診断を適切に行うために、画像検査法の基本的知識を修得する。 【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 口内法エックス線検査を説明できる。 3. パノラマエックス線検査を説明できる。 4. 画像検査の選択基準を説明する。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：各種画像検査法の特徴、選択基準を事前に確認する。2・3年次で使用した放射線学のノートを見直し、授業時に持参すること。 ・事前学修時間：30分 ・事後学修項目：授業で配布した資料。 ・事後学修時間：60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学習媒体：授業スライド 【学修方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】 401教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 10 検査・臨床判断の基本 カ 画像検査 d エックス線撮影（口内法、パノラマエックス線検査）	* 平原 尚久
2020/04/07 (火) 1時限 08:40～09:40	有床義歯補綴学の 治療ステップと必 要な器材	【授業の一般目標】 有床義歯治療時に必要な器材の準備と治療介助ができるようになるために、治療の流れと使用する器材について理解する。 【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 有床義歯製作時の治療ステップを説明できる。 3. 有床義歯製作のための印象採得時に必要な器材について説明できる。 4. 有床義歯製作のための咬合採得時に必要な器材について説明できる。 5. 義歯調整時に必要な器材について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：有床義歯製作時の治療ステップ、印象採得と咬合採得および義歯調整時に必要な器材について予習する。 ・事前学修時間：1時間 ・事後学修項目：有床義歯製作時の治療ステップ、印象採得と咬合採得および義歯調整時に必要な器材について、診療室における事後確認 ・事後学修時間：1時間 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング無、歯学生のパーソナルデンチャー、総義歯実習便覧、局部床義歯補綴学実習書 【学修方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】 401教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 4 部分床義歯による治療 イ 臨床操作 b 印象採得 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論	* 石井 智浩

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2020/04/07 (火) 1時限 08:40～09:40	有床義歯補綴学の治療ステップと必要な器材	各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 5 全部床義歯による治療 イ 臨床操作 b 印象採得 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (2) 可撤性義歯 (部分床義歯、全部床義歯) ⑥可撤性義歯製作のための印象採得・咬合採得に用いる材料と方法を説明できる。	*石井 智浩
2020/04/08 (水) 1時限 08:40～09:40	歯冠補綴治療の流れと使用する器具	【授業の一般目標】 歯冠補綴治療時に必要な器具の準備と診療介助ができるようになるために、臨床実習で行う歯冠補綴治療の流れと使用する器材を理解する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 根管形成に使用する器材を説明できる。 3. 支台築造法の種類と使用する器材を説明できる。 4. 歯肉圧排の方法と使用する器材を説明できる。 5. 支台歯形成に必要な器材を説明できる。 6. 精密印象、咬合採得に使用する器材を説明できる。 7. プロビジョナルレストレーションの製作法と必要な器材を説明できる。 8. クラウン・ブリッジの試適、調整、仮着に必要な器材を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：クラウンブリッジ補綴学第5版。クラウンブリッジ補綴学実習指針により、診療のステップを確認する。 ・事前学修時間：1時間 ・事後学修項目：授業の内容を理解する。 ・事後学修時間：1時間 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学修媒体PC、配布プリント 【学修方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 401教室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 3 クラウンブリッジによる治療 イ 臨床操作 c 支台築造 【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 3 クラウンブリッジによる治療 イ 臨床操作 b 支台歯形成 d 印象採得 e プロビジョナルレストレーション f 顎間関係の記録 h 口腔内試適 i 装着	*大村 祐史
2020/04/09 (木) 1時限 08:40～09:40	非歯原性口腔顔面痛に対する臨床診断推論	【授業の一般目標】 口腔顔面痛患者の診療プロセスを理解する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する 2. 口腔顔面痛の分類を説明できる。 3. 非歯原性口腔顔面痛を説明できる。 4. 口腔顔面痛患者の診療プロセスを説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：参考図書 日本口腔顔面痛学会編 口腔顔面痛の診断と治療ガイドブック第2版 ・事前学修時間：120分 ・事後学修項目：配布資料の復習 ・事後学修時間：120分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングなし 【学修方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 401教室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 1 病態 カ 口腔機能障害・口腔顔面痛 【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論	*大久保 昌和

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2020/04/09 (木) 1時限 08:40～09:40	非歯原性口腔顔面痛に対する臨床診断推論	<p>総論Ⅲ 病因、病態</p> <p>1 病因、病態</p> <p>ケ 疼痛</p> <p>d 口腔・顔面領域の疼痛</p> <p>歯科医学各論</p> <p>各論Ⅲ 顎・口腔領域の疾患</p> <p>3 主として機能に関連する疾患の病態・診断・治療</p> <p>イ 神経疾患の病態・診断・治療</p> <p>f 非歯原性歯痛</p> <p>k 顎関節症</p> <p>【コアカリキュラム】</p> <p>E 臨床歯学</p> <p>E-2 口腔・顎顔面領域の常態と疾患</p> <p>E-2-4) 口腔・顎顔面領域の疾患</p> <p>E-2-4) - (10) 口腔・顎顔面領域に症状を現す疾患</p> <p>⑩口腔・顎顔面領域の慢性的痛みの原因、症状及び治療法を説明できる。</p>	*大久保 昌和
2020/04/10 (金) 1時限 08:40～09:40	修復治療の流れと使用する器材、薬剤	<p>【授業の一般目標】</p> <p>保存修復処置に用いる材料や器材を適切に取り扱えるようになるために、材料や器材の名称、使用方法、特徴について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】</p> <p>1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する</p> <p>2. 各種修復材料の名称、使用方法および特徴について説明できる。</p> <p>3. 各種修復材料の使用上の注意点について理解する。</p> <p>4. 切削器具の名称、使用方法および特徴について説明できる。</p> <p>5. 修復前準備に用いる器具の名称、使用方法および特徴について理解する。</p> <p>6. 修復前準備の注意点について理解する。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事前学修項目：参考図書 保存修復学（第6版）のp. 97-108、p. 139-221再読し予習を行う。 ・事前学修時間：50分 ・事後学修項目：授業の内容を理解する。 ・事後学修時間：50分 <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</p> <p>アクティブラーニングなし</p> <p>【学修方略 (LS)】</p> <p>講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】</p> <p>401教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】</p> <p>必修の基本的事項</p> <p>1 2 治療の基礎・基本手技</p> <p>ケ 歯・歯周組織に対する基本的処置</p> <p>b 歯の硬組織疾患の治療</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】</p> <p>必修の基本的事項</p> <p>1 2 治療の基礎・基本手技</p> <p>セ 歯科材料・機器</p> <p>b 診療用器械、切削、研削工具、研磨材</p> <p>h 接着用材料、接着処理</p>	*寺中 文子
2020/04/11 (土) 1時限 08:40～09:40	根管治療の流れと使用する器材・薬剤	<p>【授業の一般目標】</p> <p>根管治療の技術を習得するために、根管治療の術式および使用する器具・薬剤について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】</p> <p>1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。</p> <p>2. 根管治療の術式について説明できる。</p> <p>3. 根管治療に必要な器具について説明できる。</p> <p>4. 根管治療に必要な薬剤について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事前学修項目：根管治療の流れ、検査項目を事前に確認する。教科書および歯内療法学実習書を読んで確認する。 ・事前学修時間：30分 ・事後学修項目：授業時配布プリント内容の確認をする。 ・事後学修時間：30分 <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</p> <p>アクティブラーニングの有無：無し</p> <p>パワーポイント、プリント</p> <p>【学修方略 (LS)】</p> <p>講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】</p> <p>401教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】</p> <p>歯科医学総論</p> <p>総論Ⅶ 治療</p> <p>2 歯・歯周組織・咬合の治療</p> <p>ア 基本的術式</p> <p>b 歯内療法</p>	*岡部 達

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2020/04/13 (月) 1時限 08:40～09:40	歯周治療の流れ (検査・SPT・ 歯周外科)と使用 する器具	<p>【授業の一般目標】 患者実習を行うために必要な歯周治療を実施するための知識を習得し、総合的に歯周治療の流れを理解する</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する 2. 歯周治療の流れについて理解する 3. 歯周基本治療の種類と目的を説明できる 4. 歯周病検査の項目とその目的を説明できる 5. 歯周基本治療で使用する器具を列挙できる 6. 歯周外科治療を分類し、種類と目的を説明できる。 7. メンテナンスとSPTについて説明できる</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：歯周治療の流れ、歯周基本治療と歯周病検査項目を事前に確認する。3、4年次で使用した歯科保存学1、2実習書(歯周治療学実習書)を読んで確認すること。 ・事前学修時間30分 ・事後学修項目：歯周疾患の病因、病態を把握するために必要な検査項目を理解し、病因に対応した歯周基本治療を列挙できるようにする。それらを行うために必要な器具と治療の流れを理解する。 ・事後学修時間：40分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 401教室、パワーポイント、プリント</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 401教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 3 歯周疾患 ウ 歯周疾患の治療 b 歯周基本治療</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 3 歯周疾患 ウ 歯周疾患の治療 d 歯周外科治療(切除療法、組織付着療法、歯周組織再生治療) e 歯周外科治療(歯周形成手術) i メンテナンス、SPT<supportive periodontal therapy></p>	*中山 洋平
2020/04/14 (火) 1時限 08:40～09:40	Vital signs 測定、 スタンダードプレ コーションについ て	<p>【授業の一般目標】 患者および医療者の安全に適切に対応できるようになるために、Vital Signs の測定および感染対策について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 「臨床経験に基づき以下の内容を教授する。」 2. 脈拍の測定方法について説明することができる。 3. 血圧の測定方法について説明することができる。 4. 心電図検査について説明することができる。 5. 基本的な心電図波形について説明することができる。 6. スタンダードプレコーションについて説明することができる。 7. 手術室の感染対策について説明することができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：スタンダード 全身管理・歯科麻酔学第3版または4版「6. 術中管理、B循環管理」について学修しておく。 ・事前学修時間：30分 ・事後学修項目：授業で配布した資料および講義中記載した内容。 ・事後学修時間：45分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無し。 学修媒体：講義スライド、配布資料。</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 401教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅴ 診察 1 診察総論 カ 評価の基本 a バイタルサイン</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 9 診察の基本 エ 全身の診察 c バイタルサイン (呼吸、脈拍、血圧、体温)</p>	*下坂 典立
2020/04/15 (水) 1時限 08:40～09:40	粘膜切開、剥離、 縫合、抜歯等の外 来手術の流れと使 用機材・薬剤につ	<p>【授業の一般目標】 口腔外科外来手術時に必要な器材の準備と治療介助ができるようになるために、外来手術の流れと使用する器材・薬剤について理解する。</p>	*伊澤 万貴子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2020/04/15 (水) 1時限 08:40～09:40	いて。手指消毒、術野の消毒について。	<p>【行動目標 (SBOs)】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 手指と術野の消毒について説明できる。 3. 抜歯に必要な器具の用法と基本手技を説明できる。 4. 粘膜の切開、剥離に必要な器具の用法を説明できる。 5. 縫合と止血に必要な器具の用法を説明できる。 <p>【準備学修項目と準備学修時間】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事前学修項目：手術前準備、外科基本手技、基本使用器具 ・事前学修時間：1時間 ・事後学修項目：授業の内容を理解する。 ・事後学修時間：1時間 <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</p> <p>アクティブラーニング：無し 学修媒体：授業スライド 参考図書：医学書院「標準口腔外科学 第4版」、医歯薬出版「口腔外科学 第3版」、学建書院「口腔外科学 第5版」、「サクシントロ口腔外科学 第3版」</p> <p>【学修方略 (LS)】</p> <p>講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】</p> <p>401教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】</p> <p>必修の基本的事項 1 2 治療の基礎・基本手技 ケ 歯・歯周組織に対する基本的処置 a 抜歯</p>	*伊澤 万貴子
2020/04/16 (木) 1時限 08:40～09:40	小児の扱い・小児歯科の特色と使用する特殊器具	<p>【授業の一般目標】</p> <p>小児への対応を適切に行うために、小児歯科の特色と使用する器具について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 年齢ごとの小児への対応を説明できる。 3. 小児歯科の器具について説明できる。 <p>【準備学修項目と準備学修時間】</p> <p>事前学修項目：低年齢児の対応法 事前学修時間：1時間 事後学修項目：授業配布の資料の内容確認と整理 事後学修時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</p> <p>アクティブラーニング：無し 学修媒体：授業スライド 参考図書：医歯薬出版「小児歯科基礎・臨床実習 第2版」、学建書院「小児の口腔科学 第3版、第4版」</p> <p>【学修方略 (LS)】</p> <p>講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】</p> <p>401教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】</p> <p>必修の基本的事項 1 2 治療の基礎・基本手技 イ 乳幼児・高齢者・妊産婦・障害者・要介護者の治療 a 治療環境</p>	*清水 邦彦
2020/04/17 (金) 1時限 08:40～09:40	セファロ分析に基づく矯正治療の流れ	<p>【授業の一般目標】</p> <p>適切な矯正治療を行うためにセファロ分析に基づく矯正治療の流れを理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 精密検査で行う項目を列挙し、それぞれの目的を説明できる。 3. 頭部エックス線規格写真撮影の方法について説明できる。 4. セファロ分析の基準点・基準平面について説明できる。 <p>【準備学修項目と準備学修時間】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事前学修項目：①矯正臨床における検査 ②形態検査の種類 ・事前学修時間：60分 ・事後学修項目：セファロ分析について ・事後学修時間：60分 <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</p> <p>アクティブラーニング：無し 学修媒体：授業配布プリント、PCによるスライド 参考図書：医歯薬出版「歯科矯正学」第6版</p> <p>【学修方略 (LS)】</p> <p>講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】</p> <p>401教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】</p> <p>歯科医学各論 各論 I 成長発育に関連した疾患・病態</p>	*根岸 慎一

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2020/04/17 (金) 1時限 08:40～09:40	セファロ分析に基づく矯正治療の流れ	7 不正咬合の診断 イ 検査	*根岸 慎一
2020/04/20 (月) 1時限 08:40～09:40	障害者を取りまく環境	<p>【授業の一般目標】 平成28年4月1日から施行された障害者差別解消法について、成立過程やその後の経過を理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する 2. 障害者権利条約についてその概要を説明することができる。 3. 障害者差別解消法についてその概要を説明することができる。 4. 合理的配慮を説明することができる。 5. 合理的配慮とセルフアドボカシー 6. バリアフリー・コンフリクトを説明することができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：厚生労働省のHPを閲覧し、「厚生労働省における障害を理由とする差別の解消の推進」中の「医療関係事業者向けガイドライン」の内容を確認しておく。 事前学修時間：30分 事後学修項目：授業配布資料を用いて確認する。 事後学修時間：60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングはありません。 配布プリント、パワーポイントにて講義を行います。</p> <p>講義後レポート課題；障害学生 (e.g. 発達障害のある) の授業参加における合理的配慮とセルフアドボカシーについて考察する。</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 401教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論 I 保健・医療と健康増進 2 ライフステージ別にみた保健・福祉の制度 カ 障害児・障害者の保健・福祉 c 障害の種類と支援</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 2 社会と歯科医療 ア 患者・障害者のもつ心理社会的問題と背景 d ノーマライゼーション、バリアフリー</p> <p>【コアカリキュラム】 A 歯科医師として求められる基本的な資質・能力 A-4 コミュニケーション能力 A-4-1) コミュニケーション ①コミュニケーションの意義、目的と技法 (言語的・準言語的・非言語的) を説明できる。 ②コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くことができる。 A-4-2) 患者と歯科医師の関係 ①患者と家族の精神的・身体的苦痛に十分配慮できる。 ②患者に分かりやすい言葉で説明できる。 ③患者の心理的・社会的背景や自立した生活を送るための課題を把握し、抱える問題点を抽出・整理できる。 ④患者のプライバシーに配慮できる。 B 社会と歯学 B-2 健康と社会、環境 B-2-2) 保健・医療・福祉・介護の制度 ③社会保障制度 (社会保険・社会福祉・公的扶助・公衆衛生) を説明できる。 ⑤障害者の置かれた社会環境を説明できる。 ⑥虐待の防止に関する制度と歯科医師の責務を説明できる。 ⑦社会環境 (ノーマライゼーション、バリアフリー、quality of life <QOL>) の考え方を説明できる。</p>	*伊藤 政之
2020/04/21 (火) 1時限 08:40～09:40	医療安全対策	<p>【授業の一般目標】 安全な歯科医療を提供するために、医療安全対策に必要な知識を理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 医療における安全管理とそれを実現するための対策について説明できる。 3. インシデント・アクシデントについて説明できる。 4. ハイシリット法の法則について説明できる。 5. エラーの分類について説明できる。 6. ヒューマンエラーについて説明できる。 7. スイスチーズモデルについて説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：医療安全対策、医療事故 事前学修時間：60分 事後学修項目：医療安全対策、医療事故 事後学修時間：60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p>	*山口 秀紀

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2020/04/21 (火) 1時限 08:40～09:40	医療安全対策	<p>【場所（教室/実習室）】 401教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 2 社会と歯科医療 オ 医療事故の防止 e 医療危機管理〈リスクマネージメント〉</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 必修の基本的事項 2 社会と歯科医療 オ 医療事故の防止 a 医療事故と医療過誤 b 医療事故の発生要因 c 患者の安全管理（誤飲、誤嚥、誤薬、出血、外傷、感染、被曝、目の保護） d 医療者の安全管理 f ヒヤリハット、アクシデント、インシデント、医療事故報告書、インシデントレポート g 医療安全対策（医薬品・医療機器の安全管理） h 医療事故調査制度</p>	*山口 秀紀
2020/04/22 (水) 1時限 08:40～09:40	院内感染対策	<p>【授業の一般目標】 安全な歯科医療を行うために、感染予防対策に関する必要な知識を理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 感染対策について説明できる。 3. スタンダードプリコーションについて説明できる。 4. 手指衛生の方法について説明できる。 5. PPE(個人防護用具)について説明できる。 6. スポルディング分類について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：院内感染対策、滅菌・消毒、他 事前学修時間：60分 事後学修項目：院内感染対策、滅菌・消毒、他 事後学修時間：60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 日本大学松戸歯学部付属院医療安全・院内感染対策ポケットマニュアル</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 401教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 2 社会と歯科医療 カ 院内感染対策 a 標準予防策〈standard precautions〉</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 必修の基本的事項 2 社会と歯科医療 カ 院内感染対策 b 抗菌薬の適正使用〈AMS〉と薬剤耐性菌〈AMR〉 c 医療廃棄物処理 d 院内感染対策委員会</p>	*山口 秀紀

成長・発育

年次	学期	学修ユニット責任者
5年次	前学期	*清水 武彦 (小児歯科学)

学修ユニット 学修目標 (GIO)	成長・発育
担当教員	*岡本 京、*小川 奈保、*清水 邦彦、*矢口 学、*遠藤 眞美、*五関 たけみ、*根岸 慎一、*清水 眞美、*菊田 純、*疋田 拓史、*中山 瑛加、*根本 晴子、*伊藤 龍朗
評価方法 (EV)	平常試験②⑧で評価する。

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2020/04/25 (土) 1時限 08:40~09:40	不正咬合の特徴1 (下顎前突)	<p>【授業の一般目標】 下顎前突を主訴に来院した患者の相談に適切に対応するために必要な基本的知識について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 下顎前突の発現要因を説明できる。 3. 機能性反対咬合の特徴を述べることができる。 4. 骨格性下顎前突の特徴を述べることができる。 5. 反対咬合の早期治療について説明できる。 6. 反対咬合の治療に用いる装置とその使用目的を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：①早期治療について ②機能検査の種類について ③乳歯混合歯列で使用する矯正装置について ・事前学修時間：60分 ・事後学修項目：①早期治療について ②骨格性反対咬合と機能性反対咬合の鑑別について ③機能性反対咬合の治療計画について ・事後学修時間：60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無し 学修媒体：授業配布プリント、PCによるスライド 参考図書：医歯薬出版「歯科矯正学」第6版</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 401教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論 I 成長発育に関連した疾患・病態 6 不正咬合病因・病態 イ 不正咬合の種類</p>	*菊田 純 *五関 たけみ
2020/04/27 (月) 1時限 08:40~09:40	成長発育と評価	<p>【授業の一般目標】 口腔・顎・顔面の成長発育を考慮した矯正治療を実践するために、頭蓋・顎顔面の成長パターンおよび成長発育の評価法を理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 成長発育の評価について説明できる。 3. 骨年齢とその評価について説明できる。 4. 成長スパートの予測について説明できる。 5. 脳頭蓋の成長について説明できる。 6. 上顎骨の成長発育の特徴について説明できる。 7. 下顎骨の成長発育の特徴について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：①Scammonの臓器発育曲線について ②生理的年齢について ③脳頭蓋の成長様式について ④上下顎骨の成長発育の特徴について ・事前学修時間：60分 ・事後学修項目：顎顔面頭蓋の成長発育について ・事後学修時間：60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無し 学修媒体：授業配布プリント、PCによるスライド 参考図書：医歯薬出版「歯科矯正学」第6版</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 401教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 6 人体の発生・成長・発達・加齢 ウ 口腔・顎顔面の成長・発育 b 上顎骨・下顎骨の成長の特徴 (成長の時期、骨形成様式)</p>	*疋田 拓史 *五関 たけみ

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2020/04/27 (月) 1時限 08:40～09:40	成長発育と評価	<p>【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 6 人体の発生・成長・発達・加齢 イ 人体の発育 c 成長発育・発達の特徴 (身体成長、原始反射、運動の発達、社会性の発達、言語の発達、情動の発達) 歯科医学総論 総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢 8 人体の成長・発達・加齢 イ 発育区分における成長・発達の評価 a 身体成長の評価法 9 口腔・顎顔面の発生・成長・発育 エ 頭部の成長・発育 a 頭蓋</p>	* 疋田 拓史 * 五関 たけみ
2020/04/30 (木) 1時限 08:40～09:40	矯正装置と矯正力	<p>【授業の一般目標】 適切な矯正治療を行うために、矯正装置の特徴と矯正力について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 舌側弧線装置について説明できる。 3. 機能的矯正装置について説明できる。 4. 矯正力の種類について説明できる。 5. 顎整形力を発揮する矯正装置を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目: ①早期治療について ②乳歯混合歯列で使用する矯正装置について ・事前学修時間: 60分 ・事後学修項目: ①矯正装置の使用目的について ②矯正力の種類について ・事後学修時間: 60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング: 無し 学習媒体: 授業配布プリント、PCによるスライド 参考図書: 医歯薬出版「歯科矯正学」第6版</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 401教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅰ 成長発育に関連した疾患・病態 9 矯正装置 ア 唇舌側弧線装置 a リンガルアーチ<舌側弧線装置></p>	* 中山 瑛加 * 五関 たけみ
2020/05/01 (金) 1時限 08:40～09:40	不正咬合の特徴2 (上顎前突)	<p>【授業の一般目標】 上顎前突を主訴に来院した患者からの相談に適切に対応するために必要な基本的知識を理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 上顎前突の発現要因を説明できる。 3. 上顎前突の形態的特徴を列挙できる。 4. 上顎前突の機能的特徴を列挙できる。 5. 上顎前突の早期治療について説明できる。 6. 上顎前突の治療に用いる矯正装置とその使用目的を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目: ①早期治療について ②口腔習癖について ③乳歯混合歯列で使用する矯正装置について ・事前学修時間: 60分 ・事後学修項目: ①早期治療について ②AngleⅡ級不正咬合の特徴について ・事後学修時間: 60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング: 無し 学習媒体: 授業配布プリント、PCによるスライド 参考図書: 医歯薬出版「歯科矯正学」第6版</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 401教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅰ 成長発育に関連した疾患・病態 6 不正咬合病因・病態 イ 不正咬合の種類</p>	* 清水 真美
2020/05/02 (土) 1時限 08:40～09:40	小児の心身発達	<p>【授業の一般目標】 小児の歯科疾患に適切に対応するために、小児の心身発達について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 小児の身体発達について説明できる。 3. 小児の情動の発達について説明できる。</p>	* 清水 邦彦

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2020/05/02 (土) 1時限 08:40～09:40	小児の心身発達	<p>4. 小児の運動機能の発達について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：小児の発達 事前学修時間：1時間 事後学修項目：授業配布の資料の内容確認と整理 事後学修時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無し 学修媒体：授業スライド 参考図書：医歯薬出版「小児歯科基礎・臨床実習 第2版」、学建書院「小児の口腔科学 第3版、第4版」</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 401教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 6 人体の発生・成長・発達・加齢 イ 人体の発育 c 成長発育・発達の特徴（身体成長、原始反射、運動の発達、社会性の発達、言語の発達、情動の発達）</p>	*清水 邦彦
2020/05/14 (木) 1時限 08:40～09:40	咬合誘導	<p>【授業の一般目標】 乳歯および混合歯列期に生じた歯の欠損と歯列不正に対応するために、静的咬合誘導（保隙）と動的咬合誘導を理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 保隙の必要性を説明できる。 3. 咬合誘導の概念を説明できる。 4. 歯列不正の原因を説明できる。 5. 保隙装置とその適応、管理について説明できる。 6. 保隙装置の作成方法および作成時の注意点について説明できる。 7. 動的咬合誘導に使用する装置とその適応について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：『小児の口腔科学』咬合誘導 事前学修時間：60分 事後学修項目：授業配布の資料の内容確認と整理 事後学修時間：60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無し 学習媒体：配布プリント、スライド 参考図書：学健書院「小児の口腔科学」</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 401教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅰ 成長発育に関連した疾患・病態 5 歯列・咬合異常の予防 イ 保隙（静的咬合誘導） b 保隙装置の適応症</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅰ 成長発育に関連した疾患・病態 5 歯列・咬合異常の予防 イ 保隙（静的咬合誘導） a 保隙装置の分類 c 保隙装置の製作法 ア 歯列・咬合異常の要因 ウ 動的咬合誘導 エ 口腔習癖とその対応</p>	*根本 晴子
2020/05/15 (金) 1時限 08:40～09:40	小児の歯・歯列の発育と特徴	<p>【授業の一般目標】 小児の歯科疾患に適切に対応するために、小児の歯・歯列の発育と特徴について理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき 以下の内容を教授する。 2. 乳歯、永久歯の形態および特徴を説明できる。 3. 歯の形態異常を説明できる。 4. 歯の発育時期について説明できる。 5. Hellmanの歯齢を列記できる。 6. 乳歯列および混合歯列の特徴を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：歯列・咬合の発育、歯の発育と異常 事前学修時間：1時間 事後学修項目：授業配布の資料の内容確認と整理 事後学修時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無し 学修媒体：授業スライド</p>	*伊藤 龍朗

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2020/05/15 (金) 1時限 08:40～09:40	小児の歯・歯列の 発育と特徴	参考図書：医歯薬出版「小児歯科基礎・臨床実習 第2版」、学建書院「小児の口腔科学 第3版、第4版」 【学修方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】 401教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 6 人体の発生・成長・発達・加齢 ウ 口腔・顎顔面の成長・発育 a 歯・歯列の発育（発育時期・萌出時期・順序、歯の脱落・交換時期、歯齢）	*伊藤 龍朗
2020/05/18 (月) 1時限 08:40～09:40	小児の歯周疾患、 軟組織疾患	【授業の一般目標】 小児の歯科疾患の診断および治療ができるようになるために、歯周疾患、口腔軟組織疾患について理解する。 【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 小児の歯周疾患の種類および特徴について説明できる。 3. 小児の歯周疾患の処置について説明できる。 4. 口腔軟組織について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：小児の歯周疾患、口腔軟組織疾患 事前学修時間：1時間 事後学修項目：授業配布の資料の内容確認と整理 事後学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学習媒体：配布プリント、スライド 参考図書：学建書院「小児の口腔科学」 【学修方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】 401教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 3 歯周疾患 エ 小児期にみられる歯周疾患 a 小児の歯肉病変・歯周炎の特徴 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 3 歯周疾患 エ 小児期にみられる歯周疾患 b 小児の歯肉病変・歯周炎への対応 各論Ⅲ 顎・口腔領域の疾患 1 主として軟組織に関連する疾患の病態・診断・治療 ク 口腔粘膜疾患の病態・診断・治療 a ウイルス性口内炎 d 薬物性口内炎 j 口腔カンジダ症<鵞口瘡> u 地図状舌	*小川 奈保
2020/05/19 (火) 1時限 08:40～09:40	小児期の治療時に 留意すべき疾患	【授業の一般目標】 小児への対応を適切に行うために、小児期の治療時に留意すべき疾患について理解する。 【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 口腔症状を伴う全身疾患について説明できる。 3. 口腔症状を伴う全身疾患についての治療上の注意について説明できる。 4. 遺伝性疾患とその顎頭蓋顔面症候について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：『小児の口腔科学』小児の留意すべき疾患 事前学修時間：60分 事後学修項目：授業配布の資料の内容確認と整理 事後学修時間：60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学習媒体：配布プリント、スライド 参考図書：学建書院「小児の口腔科学」 【学修方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】 401教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅰ 成長発育に関連した疾患・病態 1 口腔・顎顔面の発育を障害する先天異常 イ 遺伝性疾患(主に口腔に症状がみられる)	*伊藤 龍朗

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2020/05/19 (火) 1時限 08:40～09:40	小児期の治療時に留意すべき疾患	d エナメル質形成不全(症) 【国家試験出題基準(副)】 歯科医学各論 各論Ⅰ 成長発育に関連した疾患・病態 1 口腔・顎顔面の発育を障害する先天異常 イ 遺伝性疾患(主に口腔に症状がみられる) c Papillon-Lefevre症候群 e 骨形成不全症 f 先天性表皮水泡症 g 先天性外胚葉形成不全<先天性 外胚葉異形成症> h 象牙質形成不全症 j 低フォスファターゼ症 a Apert症候群<尖頭合指症> b Crouzon症候群<頭蓋顔面異骨症> c Robin シークエンス<Pierre Robin症候群> d Treacher Collins症候群<下顎顔面異骨症>	*伊藤 龍朗
2020/05/20 (水) 1時限 08:40～09:40	摂食・嚥下機能の発達	【授業の一般目標】 摂食・嚥下リハビリテーションに必要な摂食・嚥下機能の発達について理解する。 【行動目標(SBOs)】 1.1. 「臨床経験に基づき以下の内容を教授する。」 2.2. 哺乳機能について説明できる。 3.3. 離乳期の摂食嚥下機能について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目: スペシャルニーズデンティストリー障害者歯科(医歯薬出版) ・事前学修時間: 30分 ・事後学修項目: 授業時配布資料を用いた内容確認と整理 ・事後学習時間: 30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 有り 講義中のアクションレポート 【学修方略(LS)】 講義 【場所(教室/実習室)】 401教室 【国家試験出題基準(主)】 歯科医学総論 総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢 8 人体の成長・発達・加齢 ウ 口腔・顎の機能の発達 a 咀嚼・嚥下機能	*遠藤 眞美
2020/05/21 (木) 1時限 08:40～09:40	障害者への対応	【授業の一般目標】 スペシャルニーズがある人に対する歯科臨床場面において、治療に対する不安や恐怖を取り除くための支援について理解する。 【行動目標(SBOs)】 1. 「臨床経験に基づき以下の内容を教授する。」 2. 行動調整について説明できる。 3. オリエンテーションについて説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目: スペシャルニーズデンティストリー障害者歯科(医歯薬出版) ・事前学修時間: 30分 ・事前学修項目: 授業時配布資料を用いた内容確認と整理 ・事後学修時間: 30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無 【学修方略(LS)】 講義 【場所(教室/実習室)】 401教室 【国家試験出題基準(主)】 歯科医学総論 総論Ⅴ 診察 3 障害者への対応 ウ 行動調整	*矢口 学

加齢と歯の欠損

年次	学期	学修ユニット責任者
5年次	前学期	*飯島 守雄 (有床義歯補綴学)

学修ユニット学修目標 (GIO)	歯列の部分欠損或いは全部欠損の特性を理解し、可撤性義歯を活用した補綴治療の臨床的意義とその方法を理解する。
担当教員	*飯島 守雄、*河相 安彦、*伊藤 誠康、*木本 統、*浅野 隆、*飯田 崇、*三田村 佐智代、*大久保 昌和、*井下田 繁子
評価方法 (EV)	平常試験③⑧で評価する。

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2020/05/23 (土) 1時限 08:40~09:40	局部床義歯の種類と目的	<p>【授業の一般目標】 歯列の部分欠損の特性を理解し、可撤性義歯を活用した補綴治療の臨床的意義とその方法を理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 部分床義歯の種類と適応症を説明できる。 3. 歯列部分欠損による障害とその病体を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前、事後学習項目：局部床義歯の種類、目的について 事前、事後学習時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 臨床スライド 有り：ピアインストラクション</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 401教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 1 病態 ア 咬合・咀嚼障害</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (2) 可撤性義歯 (部分床義歯、全部床義歯) ①歯の欠損、顎骨・顔面の欠損に伴う障害の種類と病態を説明できる。</p>	*飯島 守雄
2020/05/25 (月) 1時限 08:40~09:40	無歯顎補綴治療の検査・診察	<p>【授業の一般目標】 無歯顎患者の旧義歯における問題点の解決と新義歯の治療を円滑に進めるために必要な知識、技能および態度を修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 無歯顎患者のプロブレムリストを作成できる 3. 患者の補綴学的、身体的、社会的な問題点を抽出できる 4. 旧義歯の問題点を補綴学的に解釈できる 5. 旧義歯の問題点に関する検査を列挙できる 6. 検査結果を観察記録として記載できる 7. 観察記録を総合して問題点の考察ができる 8. 問題点の考察に基づき原因の診断ができる 9. 診断に基づき、治療計画を立案できる 10. 治療計画に基づき対処を行う事ができる</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：無歯顎補綴治療学第2版 p76~83 困ったときにSEOAPで解決 有床義歯トラブルシューティング p2~20 準備学修時間：1時間 事後学修項目：授業プリントに基づく患者担当後のグループ学修 事後学修時間：6時間</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 本講義を基礎に問題解決のためのアクティブラーニング ①各グループに担当される無歯顎患者の協力を仰ぎ総義歯補綴の臨床実習を進行する。 ②各グループに担当された旧義歯のプロブレムリストに基づき行う。教授カンファレンス。 を行う</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 401教室</p>	*河相 安彦

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2020/05/25 (月) 1時限 08:40～09:40	無歯顎補綴治療の 検査・診察	<p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 2 診察、検査、診断 ア 診察</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 2 診察、検査、診断 ウ 診断 エ 治療計画の立案</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4)-(2) 可撤性義歯（部分床義歯、全部床義歯） ③可撤性義歯の特徴と適応症を説明できる。 ④可撤性義歯の要素構成と支持、把持、維持の機構を説明できる。</p>	*河相 安彦
2020/05/26 (火) 1時限 08:40～09:40	局部床義歯のサベ イングと前処置	<p>【授業の一般目標】 歯の欠損に対する補綴治療ができるようになるために、局部床義歯の局部床義歯のサベイングと前処置について理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.局部床義歯のサベイングを説明できる 3.□局部床義歯の前処置を説明できる</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：歯学生のパーシャルデンチャー第6版：14章～17章、スタンダードパーシャルデンチャー補綴学（2016、学建書院）10章、12章の予習 事前学修時間：60分 事後学修項目：配布資料の復習 事後学修時間：60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無し 学修媒体：授業スライド 参考図書：歯学生のパーシャルデンチャー第6版：14章～17章、スタンダードパーシャルデンチャー補綴学（2016、学建書院）：10章、12章</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 401教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 4 部分床義歯による治療 ウ 技工操作 d サベイング、設計線の記入</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 4 部分床義歯による治療 イ 臨床操作 a 前処置</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4)-(2) 可撤性義歯（部分床義歯、全部床義歯） ①歯の欠損、顎骨・顔面の欠損に伴う障害の種類と病態を説明できる。 ④可撤性義歯の要素構成と支持、把持、維持の機構を説明できる。</p>	*伊藤 誠康
2020/05/27 (水) 1時限 08:40～09:40	インプラント治療 の概要・診察と検 査（1）	<p>【授業の一般目標】 欠損補綴の回復法を適切に患者へ提供するために、口腔インプラント治療に関する基本的知識を習得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1.□臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.インプラント治療の流れを説明できる。 3.インプラント補綴における治療計画を説明できる。 4.インプラント治療における全身状態の評価の目的と方法を説明できる。 5.インプラントの局所の診察の臨床的意義を説明できる。 6.インプラントの画像検査法とガイドドサージェリーについて説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：4年次配布資料、よくわかる口腔インプラント学第3版、口腔インプラント治療指針2016、口腔インプラント実習書動画 ・事前学修時間：45分 ・事後学習項目：授業時配布資料およびよくわかる口腔インプラント学第3版、口腔インプラント治療指針2016、口腔インプラント実習書動画 ・事後学習時間：60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：なし 学習媒体：配布プリント、PCによるスライド 参考図書：よくわかる口腔インプラント学 第3版 医歯薬出版（株）</p>	*井下田 繁子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2020/05/27 (水) 1時限 08:40～09:40	インプラント治療の概要・診察と検査 (1)	<p>口腔インプラント治療指針2016 公益社団法人日本口腔インプラント学会編 口腔インプラント実習書 (動画) 公益社団法人日本口腔インプラント学会編 永末書店 口腔インプラント治療とリスクマネジメント2015 公益社団法人日本口腔インプラント学会編 口腔インプラント学学術用語集 第3版 公益社団法人日本口腔インプラント学会編</p> <p>【学修方略 (L S)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 401教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 6 インプラント義歯による治療 ア インプラント義歯の設計 b 埋入計画の立案</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (3) 口腔インプラント ③口腔インプラントに必要な診察と検査を説明できる。 ④口腔インプラントの治療計画、治療手順を説明できる。</p>	*井下田 繁子
2020/05/28 (木) 1時限 08:40～09:40	インプラント治療の診察と検査 (2)、手術および上部構造に関するトラブル	<p>【授業の一般目標】 欠損補綴の回復法を適切に患者へ提供するために、口腔インプラント治療に関する基本的知識を習得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 口腔臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. インプラント治療で問題となる全身疾患を説明できる。 3. インプラント体埋入手術中、直後のトラブルと合併症を説明できる。 4. 上部構造装着前・後のトラブルと合併症を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：4年次配布資料、よくわかる口腔インプラント学第3版、口腔インプラント治療指針2016、口腔インプラント治療とリスクマネジメント2015 ・事前学修時間：45分 ・事後学習項目：授業時配布資料およびよくわかる口腔インプラント学第3版、口腔インプラント治療指針2016、口腔インプラント治療とリスクマネジメント2015 ・事後学習時間：60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：なし 学習媒体：配布プリント、PCによるスライド 参考図書：よくわかる口腔インプラント学 第3版 医歯薬出版 (株) 口腔インプラント治療指針2016 公益社団法人日本口腔インプラント学会編 口腔インプラント実習書 (動画) 公益社団法人日本口腔インプラント学会編 永末書店 口腔インプラント治療とリスクマネジメント2015 公益社団法人日本口腔インプラント学会編 口腔インプラント学学術用語集 第3版 公益社団法人日本口腔インプラント学会編</p> <p>【学修方略 (L S)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 401教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 6 インプラント義歯による治療 イ 臨床操作 b オッセオインテグレーションの獲得</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 6 インプラント義歯による治療 イ 臨床操作 b オッセオインテグレーションの獲得</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (3) 口腔インプラント ②口腔インプラントの適応症と合併症を説明できる。</p>	*井下田 繁子
2020/05/29 (金) 1時限 08:40～09:40	インプラントのリコールとメンテナンス	<p>【授業の一般目標】 欠損補綴の回復法を適切に患者へ提供するために、口腔インプラント治療に関する基本的知識を習得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】</p>	*井下田 繁子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2020/05/29 (金) 1時限 08:40～09:40	インプラントのリコールとメンテナンス	<p>1. 0臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. メンテナンスの必要性を理解する。 3. メンテナンスの術式を説明できる。 4. 支持療法の目的・方法を説明できる。 5. 支持療法の重要性を理解する。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：4年次配布資料、よくわかる口腔インプラント学第3版、口腔インプラント治療指針2016、口腔インプラント治療とリスクマネジメント2015 ・事前学修時間：45分 ・事後学習項目：授業時配布資料およびよくわかる口腔インプラント学第3版、口腔インプラント治療指針2016、口腔インプラント治療とリスクマネジメント2015 ・事後学習時間：60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：なし 学習媒体：配布プリント、PCによるスライド 参考図書：よくわかる口腔インプラント学 第3版 医歯薬出版(株) 口腔インプラント治療指針2016 公益社団法人日本口腔インプラント学会編 口腔インプラント実習書(動画) 公益社団法人日本口腔インプラント学会編 永末書店 口腔インプラント治療とリスクマネジメント2015 公益社団法人日本口腔インプラント学会編 口腔インプラント学術用語集 第3版 公益社団法人日本口腔インプラント学会編</p> <p>【学修方略(LS)】 講義</p> <p>【場所(教室/実習室)】 401教室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 8 指導と管理 オ リコールとメンテナンス f インプラント支持療法</p> <p>【国家試験出題基準(副)】 歯科医学各論 各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 8 指導と管理 オ リコールとメンテナンス a ホームケア、プロフェッショナルケア b 残存組織の変化とその対応 e 補綴装置の破損とその対応</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (3) 口腔インプラント ⑧メンテナンスの重要性を説明できる。</p>	*井下田 繁子
2020/06/01 (月) 1時限 08:40～09:40	局部床義歯の設計の原則と構成要素	<p>【授業の一般目標】 歯の欠損に対する補綴治療ができるようになるために、局部床義歯の設計の原則と構成要素について理解する。</p> <p>【行動目標(SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する 2. 局部床義歯の設計の原則を説明できる 3. 局部床義歯の構成要素とそれぞれの機能を説明できる</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修の推奨 歯学生のパーシャルデンチャー第6版(2018、医歯薬出版) スタンダードパーシャルデンチャー補綴学(2016、学建書院) 準備学修時間 120分 事後学修：配布資料の復習 学修時間 120分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングなし</p> <p>【学修方略(LS)】 講義</p> <p>【場所(教室/実習室)】 401教室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 4 部分床義歯による治療 ア 義歯の設計 a 設計の原則</p> <p>【国家試験出題基準(副)】 歯科医学各論 各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 4 部分床義歯による治療 ア 義歯の設計 b 義歯の構成要素</p>	*大久保 昌和

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2020/06/01 (月) 1時限 08:40～09:40	局部床義歯の設計の原則と構成要素	<p>【コアカリキュラム】</p> <p>E 臨床歯学</p> <p>E-3 歯と歯周組織の常態と疾患</p> <p>E-3-4) 歯質と歯の欠損の診断と治療</p> <p>E-3-4) - (2) 可撤性義歯 (部分床義歯、全部床義歯)</p> <p>④可撤性義歯の要素構成と支持、把持、維持の機構を説明できる。</p> <p>⑤可撤性義歯の設計原則を説明できる。</p>	*大久保 昌和
2020/06/02 (火) 1時限 08:40～09:40	全部床義歯の形態	<p>【授業の一般目標】</p> <p>全部床義歯の形態を理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】</p> <p>1. □臨床経験に基づき以下の内容を教授する。</p> <p>2. 上顎全部床義歯の辺縁形態を述べることができる。</p> <p>3. 下顎全部床義歯の辺縁形態を述べることができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】</p> <p>事前学習項目：無歯顎補綴治療学第3版の講義内容部位を自学自習する。</p> <p>事前学習時間：60分</p> <p>事後学修項目：授業時配布資料を用いた内容確認と整理</p> <p>事後学修時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</p> <p>アクティブラーニングの有無：なし</p> <p>学習媒体：授業プリント、PCでの解説</p> <p>【学修方略 (LS)】</p> <p>講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】</p> <p>401教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】</p> <p>歯科医学各論</p> <p>各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害</p> <p>5 全部床義歯による治療</p> <p>ア 義歯の設計</p> <p>【コアカリキュラム】</p> <p>E 臨床歯学</p> <p>E-3 歯と歯周組織の常態と疾患</p> <p>E-3-4) 歯質と歯の欠損の診断と治療</p> <p>E-3-4) - (2) 可撤性義歯 (部分床義歯、全部床義歯)</p> <p>⑤可撤性義歯の設計原則を説明できる。</p> <p>⑥可撤性義歯製作のための印象採得・咬合採得に用いる材料と方法を説明できる。</p>	*木本 統
2020/06/03 (水) 1時限 08:40～09:40	全部床義歯の咬合	<p>【授業の一般目標】</p> <p>全部床義歯の咬合を理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】</p> <p>1. □臨床経験に基づき以下の内容を教授する。</p> <p>2. 全部床義歯の咬合様式を述べることができる。</p> <p>3. 片側性咬合平衡を述べることができる。</p> <p>4. 両側性咬合平行を述べることができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】</p> <p>事前学習項目：無歯顎補綴治療学第3版の講義内容部位を自学自習する。</p> <p>事前学習時間：60分</p> <p>事後学修項目：授業時配布資料を用いた内容確認と整理</p> <p>事後学修時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</p> <p>アクティブラーニングの有無：なし</p> <p>学習媒体：授業プリント、PCでの解説</p> <p>【学修方略 (LS)】</p> <p>講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】</p> <p>401教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】</p> <p>歯科医学各論</p> <p>各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害</p> <p>5 全部床義歯による治療</p> <p>ア 義歯の設計</p> <p>【コアカリキュラム】</p> <p>E 臨床歯学</p> <p>E-3 歯と歯周組織の常態と疾患</p> <p>E-3-4) 歯質と歯の欠損の診断と治療</p> <p>E-3-4) - (2) 可撤性義歯 (部分床義歯、全部床義歯)</p> <p>⑤可撤性義歯の設計原則を説明できる。</p> <p>⑩可撤性義歯の咬合様式とその意義を説明できる。</p>	*木本 統
2020/06/09 (火) 1時限 08:40～09:40	歯質・歯・顎顔面欠損による障害：顎顔面補綴装置	<p>【授業の一般目標】</p> <p>顎欠損を有する患者の特性および特殊な装置による治療 (顎顔面補綴装置による治療) を理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】</p> <p>1. □臨床経験に基づき以下の内容を教授する。</p> <p>2. 顎顔面に欠損を有する患者の機能障害を説明できる。</p> <p>3. 顎骨欠損の成因を説明できる。</p>	*飯島 守雄

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2020/06/09 (火) 1時限 08:40～09:40	歯質・歯・顎顔面欠損による障害：顎顔面補綴装置	4. 顎顔面に欠損を有する患者の補綴方法を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前、事後学習項目：顎口腔に大きな欠損を有する患者の特性を理解しておく。 事前、事後学習時間：1時間程度 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 講義 有り：ピアインストラクション ウェブクラスにあげた資料を閲覧しておく。 【学修方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】 401教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 7 特殊な装置による治療 ア 顎顔面補綴装置	*飯島 守雄
2020/06/10 (水) 1時限 08:40～09:40	高齢者の摂食嚥下障害とリハビリテーション	【授業の一般目標】 摂食嚥下リハビリテーションを理解する。 【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 摂食嚥下障害の検査について説明できる。 3. 摂食嚥下リハビリテーションについて説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目とそれに要する時間数：摂食嚥下障害の検査およびリハビリテーションについて（60分） 事後学修項目とそれに要する時間数：摂食嚥下障害の検査、間接訓練、直接訓練（60分） 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 なし 【学修方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】 401教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅴ 高齢者等に関連した疾患・病態・予防ならびに歯科診療 6 摂食嚥下障害への対応(摂食機能療法) ア 治療的アプローチ a 間接訓練 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅴ 高齢者等に関連した疾患・病態・予防ならびに歯科診療 6 摂食嚥下障害への対応(摂食機能療法) ア 治療的アプローチ b 直接訓練 イ 代償的アプローチ ウ 環境改善的アプローチ 歯科医学総論 総論Ⅵ 検査 1 口腔検査、顎口腔機能検査 イ 顎口腔機能検査 e 嚥下機能検査 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-5 高齢者、障害者、精神・心身医学的疾患 E-5-1) 高齢者の歯科治療 ⑧摂食嚥下障害の診察、検査及び診断を説明できる。 ⑨摂食嚥下リハビリテーションを説明できる。	*三田村 佐智代
2020/06/11 (木) 1時限 08:40～09:40	下顎運動および口腔機能検査	【授業の一般目標】 補綴治療に必要な咬合検査、下顎運動および口腔機能検査の準備と診療補助ができるために、基本的な知識、技能、態度を修得する。 【行動目標（SBOs）】 1. 「臨床経験に基づき以下の内容を教授する。」 2. 咬合検査の方法と目的を理解できる。 3. 下顎運動検査の方法と目的を理解できる。 4. 筋機能検査の方法と目的を理解できる。 5. 模型を用いた検査方法と目的を理解できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 ・補綴治療および高齢者の補綴治療に必要な咬合検査、下顎運動検査および口腔機能検査を説明できる。 【事前学習項目と準備学修時間】 ・事前学習：補綴学および高齢者歯科学の教科書または参考図書の授業範囲を熟読する。 ・事前学修時間：60分 ・事後学修時間：60分 事前学修項目：咬合検査、下顎運動検査、口腔機能検査 事前学修時間：30分	*浅野 隆

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2020/06/11 (木) 1時限 08:40～09:40	下顎運動および口腔機能検査	<p>事後学修項目：咬合検査、下顎運動検査、口腔機能検査 事後学修時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無</p> <p>【学修方略（L S）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 401教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 2 診察、検査、診断 イ 検査と評価 b 機能的評価</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅵ 検査 1 口腔検査、顎口腔機能検査 イ 顎口腔機能検査 c 咀嚼機能検査 e 歯列・咬合検査 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 2 診察、検査、診断 イ 検査と評価 g 研究用モデルによる検査</p>	*浅野 隆
2020/06/12 (金) 1時限 08:40～09:40	生理学と咀嚼系の機能障害	<p>【授業の一般目標】 適切な咬合・咀嚼障害の診断と機能回復を目的とした治療計画の立案および処置が行えるために。補綴学の顎機能に関する知識・技能および態度を修得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 「臨床経験に基づき以下の内容を教授する。」 2. 下顎運動および咬合に関わる基本的用語を挙げ、説明できる。 3. 下顎運動の基準となる点、線、面を分類し、説明できる。 4. 下顎位の名称を挙げ、説明できる。 5. 下顎の限界運動について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：補綴学の顎機能に関する知識・技能 事前学習時間：30分 事後学修項目：補綴学の顎機能に関する知識・技能 事後学習時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無し</p> <p>【学修方略（L S）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 401教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢 6 口腔・顎顔面の機能 イ 運動 b 顎関節、下顎位、下顎運動</p>	*飯田 崇
2020/06/13 (土) 1時限 08:40～09:40	口腔顔面痛	<p>【授業の一般目標】 適切な咬合・咀嚼障害の診断と機能回復を目的とした治療計画の立案および処置が行えるために。口腔顔面痛に関する知識・技能および態度を修得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 「臨床経験に基づき以下の内容を教授する。」 2. 非定型歯痛を説明できる。 3. 神経障害性疼痛を説明できる。 4. 非定型歯痛および神経障害性疼痛の診断について説明できる。 5. 非定型歯痛および神経障害性疼痛の治療方法について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：口腔顔面痛に関する知識・技能 事前学習時間：30分 事後学修項目：口腔顔面痛に関する知識・技能 事後学習時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無し</p> <p>【学修方略（L S）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 401教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅲ 顎・口腔領域の疾患 3 主として機能に関連する疾患の病態・診断・治療 イ 神経疾患の病態・診断・治療</p>	*飯田 崇

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2020/06/13 (土) 1時限 08:40～09:40	口腔顔面痛	f 非歯原性歯痛	*飯田 崇
2020/06/15 (月) 1時限 08:40～09:40	高齢者の歯科治療	<p>【授業の一般目標】 適切な高齢者の口腔管理を行うために、高齢者への歯科治療、口腔管理方法、摂食・嚥下障害への対応について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 「臨床経験に基づき以下の内容を教授する。」 2. 高齢者の歯科治療について説明できる。 3. 高齢者の口腔衛生管理について説明できる。 4. 高齢者における摂食・嚥下障害の原因について説明できる。 5. 高齢者の栄養管理について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：高齢者への歯科治療、口腔管理方法、摂食・嚥下障害への対応 事前学習時間：30分 事後学修項目：高齢者への歯科治療、口腔管理方法、摂食・嚥下障害への対応 事後学習時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無し</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 401教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論V 高齢者等に関連した疾患・病態・予防ならびに歯科診療 3 高齢者等に関連した臨床評価・診断・治療計画 エ 治療計画の策定</p>	*飯田 崇
2020/06/19 (金) 1時限 08:40～09:40	支台築造と支台歯形成	<p>【授業の一般目標】 損なわれた顎口腔系の形態と機能の回復を図るために必要な補綴臨床における治療法に関する知識を習得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床に基づいた基本事項と最新の状況を教授する。 2. 築造窩洞形成の原則と手順を説明できる。 3. 支台築造の種類と方法を説明できる。 4. 支台築造の選択基準を説明できる。 5. 歯頸部辺縁形態の分類と適応を説明できる。 6. 全部被覆冠の支台歯形成の手順を説明できる。 7. 部分被覆冠の支台歯形成の手順を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：歯科医師国家試験問題過去問演習およびクラウンブリッジ補綴学第5版に記載されている関連事項の確認。 事前学修時間：3時間 事後学修項目：問題演習の内容を理解し正答できる。全体の流れと要点を頭の中に整理できる。 事後学修時間：3時間</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング無。 PC、配布プリント</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 401教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 3 クラウンブリッジによる治療 イ 臨床操作 c 支台築造</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 3 クラウンブリッジによる治療 イ 臨床操作 b 支台歯形成</p>	*大村 祐史

齶蝕と硬組織欠損

年次	学期	学修ユニット責任者
5年次	前学期	*神谷 直孝 (保存修復学)

学修ユニット 学修目標 (GIO)	齶蝕と硬組織欠損の特徴を理解し、治療の臨床的意義とその方法を理解する。
担当教員	*岩井 啓寿、*寺中 文子、*岡田 珠美、*田中 孝明、*神谷 直孝、*小林 平、*大村 祐史
評価方法 (EV)	平常試験④⑧で評価する。

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2020/06/18 (木) 1時限 08:40~09:40	診療用器具と補綴 修復材料	<p>【授業の一般目標】 クラウンブリッジの治療を理解し、臨床実習を円滑に行えるために、クラウンブリッジに用いられる診療用器具と補綴修復材料について学習する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 検査に必要な器具と材料について説明できる。 3. 支台歯形成に用いるエアータービンとマイクロモーターの特徴を知る。 4. 研磨切削用具の種類と使用方法を知る。 5. 咬合採得に使用する材料と機器の特徴を知る。 6. プロビジョナルレストレーションに用いる器具と材料を知る。 7. 印象採得に用いる器具と材料の特徴を知る。 8. 補綴物の調整に用いる器具と材料を知る。 9. 仮着と合着に用いる材料を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：クラウンブリッジ補綴学 医歯薬出版 第2章 臨床操作1、第4章 臨床操作2の主たる項目について予習する。 事前学修時間：30分 事後学習項目：配布資料の復習、不足項目の補充 事後学習時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：なし 学習媒体：授業プリント</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 401教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 1 2 治療の基礎・基本手技 ケ 歯・歯周組織に対する基本的処置 b 歯の硬組織疾患の治療</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論VII 治療 2 歯・歯周組織・咬合の治療 ア 基本的術式 d 歯の欠損の治療 総論VIII 歯科材料と歯科医療機器 2 診療用器械・器具 イ 切削・研磨工具、研磨材 3 印象用材料 ウ 機能印象材 エ 印象用トレー オ 合採得用材料 6 歯冠修復・義歯用材料 キ 支台築造材 9 装着用材料 ア 合着・接着用セメント a レジンセメント b グラスアイオノマーセメント、レジン添加型グラスアイオノマーセメント c ポリカルボキシレートセメント イ 仮着用セメント</p>	*田中 孝明
2020/06/20 (土) 1時限 08:40~09:40	印象採得と咬合採得	<p>【授業の一般目標】 クラウンブリッジの印象採得と咬合採得を理解するために、印象法の特徴と手法および咬合採得の手順を学習する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. クラウンブリッジの印象採得に用いる材料を列挙することができる。 3. 印象採得の手順を説明できる。 4. 印象法の種類と特徴を説明できる。 5. クラウンブリッジの咬合採得に用いる材料を列挙できる。 6. 咬合床を用いる印象採得の必要性を述べることができる。 7. 咬合採得の下顎位を説明できる。</p>	*田中 孝明

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2020/06/20 (土) 1時限 08:40～09:40	印象採得と咬合採得	<p>8. チェックバイトの目的を説明できる。 9. チェックバイトを用いた咬合器の調整方法を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：クラウンブリッジ補綴学 医歯薬出版 V 印象採得 VII 顎間関係の記録（咬合採得）を予習する。 事前学修時間：30分 事後学習項目：配布資料の復習 事後学習時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：なし 学習媒体：授業プリント</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 401教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論VII 治療 2 歯・歯周組織・咬合の治療 ア 基本的術式 a 歯の硬組織疾患の治療</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 3 クラウンブリッジによる治療 イ 臨床操作 d 印象採得 f 顎間関係の記録</p>	*田中 孝明
2020/06/24 (水) 1時限 08:40～09:40	歯冠補綴装置のトラブル対処法	<p>【授業の一般目標】 クラウンあるいは支台装置の脱離、破折した際の対応処置と修理方法を習得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 支台築造の原則を説明することができる。 3. 支台築造の目的を列挙できる。 4. 帯環効果を説明できる。 5. 脱離の原因を説明できる。 6. 前装部の脱離と破折の原因を説明できる。 7. 前装部の修理方法を述べるることができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：歯冠補綴装置のトラブル対処法 事前学修時間：30分 事後学修項目：歯冠補綴装置のトラブル対処法 事後学修時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 学習場所：401 学習媒体：PC</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 401教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 1 病態 エ 審美障害</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4-(1) クラウンブリッジによる治療 ⑫クラウンブリッジの維持管理の目的と方法を説明できる。 ⑬クラウンブリッジ装着後のメンテナンスの重要性を説明できる。</p>	*大村 祐史
2020/06/26 (金) 1時限 08:40～09:40	最新の歯冠補綴臨床	<p>【授業の一般目標】 歯冠補綴治療における最新の臨床技術、材料、器具等について理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. メラニン色素の沈着による歯肉の変色の原因を理解し、対処法について説明できる。 3. ブラックトライアングルの原因と対処方法について説明できる。 4. ラミネートベニアの適応症と術式を説明できる。 5. オールセラミックによる審美治療について説明できる。 6. インプラントの歯冠補綴処置について述べるることができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 *事前学修項目：クラウンブリッジ補綴学 第5版 *事前学修時間：30分 *事後学修項目：講義のレジュメ</p>	*小林 平

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2020/06/26 (金) 1時限 08:40～09:40	最新の歯冠補綴臨床	<p>*事後学修時間：60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：なし 学修媒体：講義プリント、マルチメディア</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 401教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 3 クラウンブリッジによる治療 ウ 技工操作 b CAD/CAMによる製作</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4)-(1) クラウンブリッジによる治療 ②クラウンブリッジの種類、特徴及び製作法（CAD/CAMを含む）を説明できる。 ⑥色調選択（シェードテイキング）を説明できる。 ⑬クラウンブリッジ装着後のメンテナンスの重要性を説明できる。</p>	*小林 平
2020/06/29 (月) 1時限 08:40～09:40	齶蝕の特徴と処置方針	<p>【授業の一般目標】 齶蝕に対する適切な処置、治療方針の立案を行えるようになるために、齶蝕の病因・病態、主要症候について学修する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 「臨床経験に基づき以下の内容を教授する。」 2. 齶蝕の特徴について説明できる。 3. 齶蝕の主要症候について説明できる。 4. 齶蝕に対する適切な治療方針を選択できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：齶蝕の特徴と処置方針 事前学修時間：60分 事後学修項目：齶蝕の病因・病態、主要症候、治療方針について 事後学修時間：60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無し</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 401教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅶ 治療 2 歯・歯周組織・咬合の治療 ア 基本的術式 a 歯の硬組織疾患の治療</p>	*寺中 文子
2020/06/30 (火) 1時限 08:40～09:40	硬組織疾患の検査	<p>【授業の一般目標】 患者の主訴と口腔内所見から適切な検査法を選択し、その結果から正しい診断ができるようになるために、歯の硬組織の検査法について学修する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 「臨床経験に基づき以下の内容を教授する。」 2. 齶蝕の検査について説明できる。 3. 齶蝕以外の硬組織疾患の検査について説明できる。 4. 硬組織疾患の検査に必要な器具の操作方法を説明できる。 5. 検査結果から硬組織疾患の正しい診断ができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：保存修復学（第6版）のp.50～58を熟読し予習を行う。 ・事前学修時間：40分 ・事後学修項目：配布資料を再読し授業内容の復習を行う。 ・事後学修時間：50分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：無し</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 401教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅵ 検査 1 口腔検査、顎口腔機能検査 ア 口腔検査 a 歯の硬組織の検査</p>	*神谷 直孝

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2020/06/30 (火) 1時限 08:40～09:40	硬組織疾患の検査		*神谷 直孝
2020/07/01 (水) 1時限 08:40～09:40	コンポジットレジン修復の基礎	<p>【授業の一般目標】 保存修復処置の中で最も頻回に実施されるコンポジットレジン修復の介助および自験を適切に実施できるようになるために、コンポジットレジン修復の基礎について学修する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 「臨床経験に基づき以下の内容を教授する。」 2. コンポジットレジンの組成について説明できる。 3. コンポジットレジンの歯面処理について説明できる。 4. コンポジットレジン修復窩洞について説明できる。 5. コンポジットレジン修復の手順について説明できる。 6. コンポジットレジンの種類について説明できる。 7. 光重合型コンポジットレジン修復の臨床的特徴について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：保存修復学（第6版）のp.139～166を熟読し予習を行う。 ・事前学修時間：60分 ・事後学修項目：配布資料を再読し授業内容の復習を行う。 ・事後学修時間：60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 なし</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 401教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 1 歯の硬組織疾患 ウ 歯の硬組織疾患の治療 b 永久歯の直接修復法</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅷ 歯科材料と歯科医療機器 5 成形修復・予防填塞・歯内療法用材料 ア 成形修復用材料 a コンポジットレジン 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 1 歯の硬組織疾患 ウ 歯の硬組織疾患の治療 b 永久歯の直接修復法 d 窩洞形成法 歯科医学総論 総論Ⅶ 治療 2 歯・歯周組織・咬合の治療 ア 基本的術式 a 歯の硬組織疾患の治療</p>	*岩井 啓寿
2020/07/02 (木) 1時限 08:40～09:40	Tooth Wearとその対応	<p>【授業の一般目標】 Tooth Wear(歯の損耗)を主訴とする患者に適切に対応できるようになるために、Tooth Wearの臨床症状と診断および処置方針について理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 「臨床経験に基づき以下の内容を教授する。」 2. Tooth Wearの病因、病態および診断を説明できる。 3. Tooth Wearの処置方針を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：保存修復学第6版（p.15～17、p75～79）の再読 事前学修時間：30分 事後学修項目：配布資料、関連する国家試験過去問の確認をする。 事後学修時間：60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 なし</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 401教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 1 歯の硬組織疾患 ア 歯の硬組織疾患の病因と病態 c tooth wear<歯の損耗></p>	*岡田 珠美
2020/07/03 (金) 1時限 08:40～09:40	歯の審美障害	<p>【授業の一般目標】 歯の審美障害を主訴とする患者に適切に対応できるようになるために、変色歯、形態不全歯、歯間離開の診断と処置方針について理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】</p>	*岡田 珠美

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2020/07/03 (金) 1時限 08:40～09:40	歯の審美障害	<p>1. 「臨床経験に基づき以下の内容を教授する。」 2. 歯の審美障害を引き起こす疾患について説明できる。 3. 歯の変色の原因、診断、処置方針について説明できる。 4. 形態不全歯の診断と処置方針について説明できる。 5. 歯間離開の処置方針について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：保存修復学第6版 (p. 17～20、p82～88) の再読 事前学修時間：30分 事後学修項目：配布資料、関連する国家試験過去問の確認をする。 事後学修時間：60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 なし</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 401教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 1 歯の硬組織疾患 ア 歯の硬組織疾患の病因と病態 e 歯の変色・着色</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 1 歯の硬組織疾患 イ 歯の硬組織疾患の予防・管理 g 歯の変色・着色予防</p>	*岡田 珠美
2020/07/04 (土) 1時限 08:40～09:40	根面齲蝕とセメント修復	<p>【授業の一般目標】 根面齲蝕の病因・病態とその修復法について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 「臨床経験に基づき以下の内容を教授する」 2. 根面齲蝕の病因・病態について説明できる。 3. 根面齲蝕の処置方針について説明できる。 4. グラスアイオンマーセメント修復について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：齲蝕の病因について ・事前学修時間：30分 ・事後学修項目：根面齲蝕の特徴とその治療法について ・事後学修時間：60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 なし</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 401教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 1 歯の硬組織疾患 ア 歯の硬組織疾患の病因と病態 a 齲蝕の病因</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (1) 齲蝕その他の歯の硬組織疾患の診断と治療 ①齲蝕その他の歯の硬組織疾患 (tooth wear (酸蝕症、咬耗、摩耗等)、生活歯の変色、象牙質知覚過敏症を含む) の症状、検査法、診断及び処置法 (再石灰化療法を含む) を説明できる。 ③修復材料とその取扱い、修復法の適応を説明できる。</p>	*岩井 啓寿

炎症

年次	学期	学修ユニット責任者
5年次	前学期	*高井 英樹 (歯周治療学)

学修ユニット 学修目標 (GIO)	口腔領域の様々な炎症の病態について理解し、その治療法について説明できる。
担当教員	*高井 英樹、*宇都宮 忠彦、*岡部 達、*神尾 直人、*伊澤 万貴子
評価方法 (EV)	平常試験⑤⑧で評価する。

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2020/07/09 (木) 1時限 08:40~09:40	炎症の病理組織学	<p>【授業の一般目標】 歯髄、歯周組織及び顎骨の炎症性疾患を正しく診断・治療するために、炎症の病理組織学的知識や組織特異性について学修する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 以下の学修目標と内容は基礎歯科医学教育及び臨床経験に基づいて設定する。 2. 炎症の病因について解説できる。 3. 炎症の成り立ちと徴候について病理組織学的に説明できる。 4. 炎症の病理組織学的分類について解説できる。 5. 歯髄組織及び根尖性歯周組織の炎症性変化について説明できる。 6. 辺縁歯周組織の炎症性変化について解説できる。 7. 顎骨の炎症性変化について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目： 炎症の5徴候 炎症の病理組織学的分類 急性炎症と慢性炎症の相違点 ・事前学修時間：40分 ・事後学修項目： 歯髄炎及び根尖歯周組織の炎症の病理組織学的特徴 辺縁歯周組織の炎症の病理組織学的特徴 顎骨の炎症の病理組織学的特徴 ・事後学修時間：60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング無し マルチメディア</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 401教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 7 主要な疾患と障害の病因・病態 ア 疾病の概念 d 炎症</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 7 主要な疾患と障害の病因・病態 イ 口腔・顎顔面領域の疾患と障害の概念 a 歯の硬組織疾患 b 歯髄疾患、根尖性歯周疾患 c 歯周疾患</p>	*宇都宮 忠彦
2020/07/10 (金) 1時限 08:40~09:40	歯髄炎・根尖性歯周炎の分類・診断	<p>【授業の一般目標】 誘発痛や自発痛を主訴とする患者に対し、歯髄炎・根尖性歯周炎の診断および処置方針の決定ができるようになるために、臨床症状をもとに歯髄炎・根尖性歯周炎の特徴を理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 1) 歯髄炎・根尖性歯周炎の原因を説明できる。 3. 2) 歯髄炎・根尖性歯周炎の進行の特徴を説明できる。 4. 3) 可逆性歯髄炎、不可逆性歯髄炎の特徴を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：炎症の基本的な病態、臨床症状を確認する。 ・事前学修時間：30分 ・事後学修項目：授業時配布プリントを確認する。 ・事後学修時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：無し パワーポイント、授業プリント</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】</p>	*岡部 達

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2020/07/10 (金) 1時限 08:40～09:40	歯髄炎・根尖性歯周炎の分類・診断	401教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅲ 病因、病態 2 口腔・顎顔面領域の疾患の病因・病態 ア 主な病因・病態 b 歯・歯周組織の疾患	*岡部 達
2020/07/13 (月) 1時限 08:40～09:40	歯髄炎・根尖性歯周炎の治療の基礎	【授業の一般目標】 歯髄・根尖性歯周組織疾患を適切に治療できるようになるために、可逆性歯髄炎に対する処置について理解する。 【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 覆髄法の分類と処置について説明できる。 3. 歯髄鎮痛消炎療法について説明できる。 4. 生活歯髄切断法について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目 歯髄炎・根尖性歯周炎の分類・診断 ・事前学修時間：60分 ・事後学修項目：授業時配布プリントを確認する。 ・事後学修時間：60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング 無し 学修媒体 PC・講義資料 【学修方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】 401教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 2 歯髄疾患、根尖性歯周疾患 イ 歯髄疾患・根尖性歯周疾患の治療 a 歯髄保存療法	*神尾 直人
2020/07/14 (火) 1時限 08:40～09:40	歯髄炎・根尖性歯周炎の治療の基礎	【授業の一般目標】 歯髄・根尖性歯周疾患を適切に治療できるようになるために、全部性歯髄炎、根尖性歯周炎に対する治療について理解する。 【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 根管治療の原則について説明できる。 3. 歯髄除去療法について説明できる。 4. 感染根管治療について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目 歯髄炎・根尖性歯周炎の分類・診断 ・事前学修時間：60分 ・事後学修項目：授業時配布プリントを確認する。 ・事後学修時間：60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング 無し 学修媒体 PC・講義資料 【学修方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】 401教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 2 歯髄疾患、根尖性歯周疾患 イ 歯髄疾患・根尖性歯周疾患の治療 c 根尖性歯周疾患の治療	*神尾 直人
2020/07/15 (水) 1時限 08:40～09:40	歯周疾患（主に歯肉炎・歯周炎）の分類・診断・治療の基礎	【授業の一般目標】 歯周疾患を正確に診断・治療するために、歯周組織の構造、歯周疾患の診査法および診断名について学習する。 【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 正常歯周組織を理解する。 3. 歯周病の原因と進行機序を理解する。 4. 歯周病の診査法を理解する。 5. 歯周病の診断名を理解する。 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学習項目：臨床歯周治療学第2版（第1～3章、13、14章）を熟読する。 準備学習時間：2時間 事後学習項目：授業配布プリントを熟読する。 事後学習時間：1時間 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：無し	*高井 英樹

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2020/07/15 (水) 1時限 08:40～09:40	歯周疾患（主に歯肉炎・歯周炎）の分類・診断・治療の基礎	<p>学習媒体：授業プリント、PCでの解説</p> <p>【学修方略（L S）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 401教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論VI 検査 1 口腔検査、顎口腔機能検査 ア 口腔検査 c 歯周組織検査</p>	*高井 英樹
2020/07/16 (木) 1時限 08:40～09:40	歯周疾患（主に歯肉炎・歯周炎）の分類・診断・治療の基礎	<p>【授業の一般目標】 歯周疾患を正確に診断・治療するために、歯周疾患の診査法および治療法について学習する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 歯周病の診査法を理解する。 3. 歯周基本治療の内容を理解する。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 準備学習項目：臨床歯周治療学第2版（第4～7章、12章）を熟読する。 準備学習時間：2時間 事後学習項目：授業配布プリントを熟読する。 事後学習時間：1時間</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：無 学習媒体：授業プリント、PCでの解説</p> <p>【学修方略（L S）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 401教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論II 歯・歯髄・歯周組織の疾患 3 歯周疾患 ウ 歯周疾患の治療 b 歯周基本治療</p>	*高井 英樹
2020/07/17 (金) 1時限 08:40～09:40	歯周疾患（主に歯肉炎・歯周炎）の分類・診断・治療の基礎	<p>【授業の一般目標】 歯周病の治療法を理解するために、歯周外科手術および治療後の治癒機転・予後について学習する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 歯周外科治療について理解する。 3. メインテナンスとSPTについて理解する。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 準備学習項目：臨床歯周治療学第2版（第8、9、11、25～28章）を熟読する。 準備学習時間：2時間 事後学習項目：授業配布プリントを熟読する。 事後学習時間：1時間</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：無 学習媒体：授業プリント、PCでの解説</p> <p>【学修方略（L S）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 401教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論II 歯・歯髄・歯周組織の疾患 3 歯周疾患 ウ 歯周疾患の治療 d 歯周外科治療（切除療法、組織付着療法、歯周組織再生治療）</p>	*高井 英樹
2020/07/18 (土) 1時限 08:40～09:40	隙の分類・炎症の波及経路	<p>【授業の一般目標】 炎症の患者に対応できるようになるために、隙の分類・炎症の波及経路について理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する 2. 隙の分類を説明できる。 3. 隙を理解し、説明することができる。 4. 炎症の波及経路を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：隙の分類、炎症の波及経路について 事前学習項目：教科書の熟読する。 事前学習時間：20分 事後学習項目：授業プリント、教科書の確認をする。</p>	*伊澤 万貴子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2020/07/18 (土) 1時限 08:40～09:40	隙の分類・炎症の波及経路	<p>事後学習時間：50分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無し 学習媒体：授業スライド 参考図書：医学書院「標準口腔外科学 第4版」、医歯薬出版「口腔外科学 第3版」、学建書院「口腔外科学 第5版」、「サクシント口腔外科学 第3版」</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 401教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅲ 顎・口腔領域の疾患 2 主として硬組織に関連する疾患の病態・診断・治療 エ 歯槽骨・顎骨の炎症の病態・診断・治療 h 顎骨周囲軟組織の炎症</p>	*伊澤 万貴子
2020/07/20 (月) 1時限 08:40～09:40	顎骨の炎症（主に骨髄炎・上顎洞炎）	<p>【授業の一般目標】 骨髄炎・上顎洞炎の患者に対応できるようになるために、顎骨に生じる骨髄炎・上顎洞炎の分類、診断、病期、症状、治療の基礎について理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する 2. 骨髄炎・上顎洞炎の分類を説明できる。 3. 骨髄炎・上顎洞炎を診断できる。 4. 骨髄炎・上顎洞炎の病期を説明できる。 5. 骨髄炎・上顎洞炎のを症状を説明できる。 6. 骨髄炎・上顎洞炎の治療法を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：骨髄炎と上顎洞炎について。 事前学習項目：教科書の熟読する。 事前学習時間：20分 事後学習項目：授業プリント、教科書の確認をする。 事後学習時間：50分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無し 学習媒体：授業スライド 参考図書：医学書院「標準口腔外科学 第4版」、医歯薬出版「口腔外科学 第3版」、学建書院「口腔外科学 第5版」、「サクシント口腔外科学 第3版」</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 401教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅲ 顎・口腔領域の疾患 2 主として硬組織に関連する疾患の病態・診断・治療 エ 歯槽骨・顎骨の炎症の病態・診断・治療 c 顎骨骨髄炎</p>	*伊澤 万貴子

検査と全身管理

年次	学期	学修ユニット責任者
5年次	前学期	*下坂 典立 (歯科麻酔学)

学修ユニット 学修目標 (GIO)	検査と全身管理
担当教員	*下坂 典立、*淵上 真奈、*鈴木 正敏、*平原 尚久、*山口 秀紀
評価方法 (EV)	平常試験⑥⑧で評価する。

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2020/07/28 (火) 1時限 08:40~09:40	有病者の検査項目 について (1)	<p>【授業の一般目標】 全身状態を有する患者の歯科治療を安全に行うために、臨床検査の基礎、検査値および検査結果の読み方を理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 全身状態の診断に必要な検査項目と意義を述べられる。 3. 各臨床検査の基準値を知り、異常値を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：検査項目と基準値を事前に確認する。 ・事前学修時間：30分 ・事後学修項目：授業で配布したプリントを理解する。 ・事後学修時間：約1時間</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 なし</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 401教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 顎・口腔領域の疾患 4 主として全身に関連する疾患の病態・診断・治療 サ 赤血球系疾患・白血球系疾患・出血性素因の診断と患者に対する観血的治療、歯科治療時の留意点</p>	*淵上 真奈
2020/08/20 (木) 1時限 08:40~09:40	有病者の検査項目 について (2)	<p>【授業の一般目標】 全身状態を有する患者の歯科治療を安全に行うために、臨床検査の基礎、検査値および検査結果の読み方を理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 全身状態の診断に必要な検査項目と意義を述べられる。 3. 各臨床検査の基準値を知り、異常値を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：検査項目と基準値を事前に確認する。 ・事前学修時間：30分 ・事後学修項目：授業で配布したプリントを理解する。 ・事後学修時間：約1時間</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 なし</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 401教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 顎・口腔領域の疾患 4 主として全身に関連する疾患の病態・診断・治療 サ 赤血球系疾患・白血球系疾患・出血性素因の診断と患者に対する観血的治療、歯科治療時の留意点</p>	*淵上 真奈
2020/08/21 (金) 1時限 08:40~09:40	糖尿病患者の歯科 治療時の注意点 について	<p>【授業の一般目標】 全身疾患 (糖尿病) 患者にてきせつに対応できるようになるために、全身管理に留意すべき事項について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 「臨床経験に基づき以下の内容を教授する。」 2. 糖尿病の病態について説明することができる。 3. 糖尿病患者の外科処置時の注意点について説明することができる。 4. 低血糖の病態について説明することができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：スタンダード全身管理・歯科麻酔学 第3版 p81-82, 282</p>	*鈴木 正敏

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2020/08/21 (金) 1時限 08:40～09:40	糖尿病患者の歯科治療時の注意点について	<ul style="list-style-type: none"> ・事前学修時間：30分 ・事後学修項目：授業で配布した資料および講義中記載した内容。 ・事後学修時間：60分 <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 401教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 1 2 治療の基礎・基本手技 ス 患者管理の基本 b 全身管理に留意すべき疾患・対象（皮膚・粘膜疾患、呼吸器疾患、循環器疾患、消化器疾患、血液・造血器・リンパ系疾患、泌尿器・生殖器疾患、精神疾患、神経疾患、内分泌疾患、免疫・アレルギー性疾患、感染症、小児疾患など）</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅶ 治療 4 手術・周術期の管理、麻酔 イ 周術期の管理 c 全身的併発症、合併症</p>	*鈴木 正敏
2020/08/22 (土) 1時限 08:40～09:40	循環器疾患患者の全身管理について (1)	<p>【授業の一般目標】 全身疾患（高血圧症および虚血性心疾患）患者に適切に対応できるようになるために、全身管理に留意すべき事項について理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 「臨床経験に基づき以下の内容を教授する。」 2. 高血圧症の病態について説明することができる。 3. 高血圧症患者の歯科治療上の注意点について説明することができる。 4. 局所麻酔時に留意すべき降圧薬について説明することができる。 5. 血圧上昇時の対応について説明することができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：スタンダード 全身管理・歯科麻酔学第3版または第4版の「4.管理上問題となる疾患」、「13.局所麻酔法、F剤形」、「15.歯科治療における全身的偶発症、2背景疾患（内科的疾患）の急性増悪」について学修しておく。 ・事前学修時間：30分 ・事後学修項目：授業で配布した資料および講義中記載した内容。 ・事後学修時間：60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無し。 学修媒体：授業スライド、配布資料。</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 401教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅴ 診察 6 全身疾患を有する者への対応 ア 留意すべき疾患 b 循環器疾患</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 必修の基本的事項 1 2 治療の基礎・基本手技 ス 患者管理の基本 b 全身管理に留意すべき疾患・対象（皮膚・粘膜疾患、呼吸器疾患、循環器疾患、消化器疾患、血液・造血器・リンパ系疾患、泌尿器・生殖器疾患、精神疾患、神経疾患、内分泌疾患、免疫・アレルギー性疾患、感染症、小児疾患など）</p>	*下坂 典立
2020/08/24 (月) 1時限 08:40～09:40	循環器疾患患者の全身管理について (2)	<p>【授業の一般目標】 全身疾患（虚血性心疾患）患者に適切に対応できるようになるために、全身管理に留意すべき事項について理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 「臨床経験に基づき以下の内容を教授する。」 2. 虚血性心疾患について説明することができる。 3. 狭心症について説明することができる。 4. 心筋梗塞について説明することができる。 5. 虚血性心疾患患者の歯科治療上の注意点について説明することができる。 6. 虚血性心疾患発症時の心電図変化について説明することができる。 7. 虚血性心疾患発症時の心電図変化について説明することができる。 8. 虚血性心疾患発症時の対応について説明することができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：スタンダード 全身管理・歯科麻酔学第3版または第4版の「4.管理上問題となる疾患」、「13.局所麻酔法、F剤形」、「15.歯科治療における全身的偶発症、2背景疾患（内科的疾患）の急性増悪」について学修しておく。 ・事前学修時間：30分 ・事後学修項目：授業で配布した資料および講義中記載した内容。</p>	*下坂 典立

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2020/08/24 (月) 1時限 08:40～09:40	循環器疾患患者の 全身管理について (2)	<p>・事後学修時間：60 分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無し。 学修媒体：授業スライド、配布資料。</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 401教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅶ 治療 1 治療の基礎 エ 全身管理に留意すべき疾患・対象 b 呼吸器系</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 必修の基本的事項 1 2 治療の基礎・基本手技 ス 患者管理の基本 b 全身管理に留意すべき疾患・対象（皮膚・粘膜疾患、呼吸器疾患、循環器疾患、消化器疾患、血液・造血器・リンパ系疾患、泌尿器・生殖器疾患、精神疾患、神経疾患、内分泌疾患、免疫・アレルギー性疾患、感染症、小児疾患など）</p>	*下坂 典立
2020/08/25 (火) 1時限 08:40～09:40	精神疾患患者の全 身管理について	<p>【授業の一般目標】 精神疾患患者に適切に対応できるようになるために、全身管理に留意すべき事項について理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 「臨床経験に基づき以下の内容を教授する。」 2. うつの病態について説明することができる。 3. うつ患者の歯科治療上の注意点について説明することができる。 4. 統合失調症の病態について説明することができる。 5. 統合失調症患者の歯科治療上の注意点について説明することができる。 6. 抗精神病薬内服患者の局所麻酔時の注意点について説明することができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：スタンダード 全身管理・歯科麻酔学第3版または第4版の「4. 管理上問題となる疾患」、「13. 局所麻酔法、F剤形」、「15. 歯科治療における全身的偶発症、2 背景疾患（内科的疾患）の急性増悪」について学修しておく。 ・事前学修時間：30 分 ・事後学修項目：授業で配布した資料。 ・事後学修時間：60 分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無し。 学修媒体：授業スライド、配布資料。</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 401教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅶ 治療 1 治療の基礎 エ 全身管理に留意すべき疾患・対象 g 精神系</p>	*山口 秀紀
2020/08/26 (水) 1時限 08:40～09:40	画像検査（1）	<p>【授業の一般目標】 顎顔面領域の画像診断を適切に行うために、画像検査法の基本的知識を修得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 口内法エックス線検査を説明できる。 3. パノラマエックス線検査を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：各種画像検査法の特徴、選択基準を事前に確認する。2・3年次で使用した放射線学のノートを見直し、授業時に持参すること。 ・事前学修時間：30 分 ・事後学修項目：授業で配布した資料。 ・事後学修時間：60 分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 学修媒体：授業スライド。</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 401教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅵ 検査 2 画像検査</p>	*平原 尚久

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2020/08/26 (水) 1時限 08:40～09:40	画像検査 (1)	エ エックス線単純撮影 c パノラマエックス線検査	*平原 尚久
2020/08/27 (木) 1時限 08:40～09:40	画像検査 (2)	<p>【授業の一般目標】 顎顔面領域の画像診断を適切に行うために、画像検査法の基本的知識を修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. CT検査について説明することができる。 3. MRI検査について説明することができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：各種画像検査法の特徴、選択基準を事前に確認する。2・3年次で使用した放射線学のノートを見直し、授業時に持参すること。 ・事前学修時間：30分 ・事後学修項目：授業で配布した資料。 ・事後学修時間：60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 学修媒体：授業スライド。</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 401教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論VI 検査 2 画像検査 オ CT a 原理、特徴、適応</p>	*平原 尚久
2020/08/28 (金) 1時限 08:40～09:40	画像検査 (3)	<p>【授業の一般目標】 顎顔面領域の画像診断を適切に行うために、画像検査法の基本的知識を修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 核医学検査について説明することができる。 3. 超音波検査について説明することができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：各種画像検査法の特徴、選択基準を事前に確認する。2・3年次で使用した放射線学のノートを見直し、授業時に持参すること。 ・事前学修時間：30分 ・事後学修項目：授業で配布した資料。 ・事後学修時間：60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 学修媒体：授業スライド。</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 401教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論VI 検査 2 画像検査 ク 超音波検査 a 原理、特徴、適応</p>	*平原 尚久

嚢胞・腫瘍

年次	学期	学修ユニット責任者
5年次	前学期	*山本 泰 (口腔外科学)

学修ユニット 学修目標 (GIO)	嚢胞・腫瘍
担当教員	*山本 泰、*宇都宮 忠彦、*濱野 美緒、*牧山 康秀、*大峰 浩隆
評価方法 (EV)	平常試験⑦⑧で評価する。

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2020/08/31 (月) 1時限 08:40~09:40	顔面・口腔の裂奇形	<p>【授業の一般目標】 顔面・口腔の裂奇形を説明できるようになるために、必要な知識を習得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 裂奇形を呈する疾患について診断できるようになるために、裂奇形を理解する。 3. 裂奇形について説明できる。 4. 唇裂の分類について説明できる。 5. 唇裂による障害について説明できる。 6. 口蓋裂の分類について説明できる。 7. 口蓋裂による障害について説明できる。 8. 顔面に生じる裂奇形の分類を列記できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目と時間：口腔外科領域における先天奇形の項目の確認30分 (実践を中心に) 4年次に授業を行った範囲の再確認30分 事後学修項目と時間：口腔外科領域における先天奇形の項目 30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 特になし</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 401教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 顎・口腔領域の疾患 1 主として軟組織に関連する疾患の病態・診断・治療 ア 先天異常と変形を主徴とする疾患の病態・診断・治療 a 口唇裂・口蓋裂</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論Ⅰ 成長発育に関連した疾患・病態 1 口腔・顎顔面の発育を障害する先天異常 ア 口腔・顎顔面の先天異常 b 口唇裂・口蓋裂</p>	*大峰 浩隆
2020/09/01 (火) 1時限 08:40~09:40	嚢胞の分類	<p>【授業の一般目標】 口腔・顎・顔面領域に発生する嚢胞を正しく診断・治療するために、嚢胞の分類及び病理学的特徴について学修する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 以下の学修目標と内容は基礎歯科医学教育及び臨床経験に基づいて設定する。 2. 顎骨に発生する嚢胞を列挙し、病理組織学的特徴について説明できる。 3. 軟組織に発生する嚢胞を列挙し、病理組織学的特徴について説明できる。 4. 歯原性炎症性嚢胞を列挙し、病理組織学的特徴について説明できる。 5. 歯原性発育性嚢胞を列挙し、病理組織学的特徴について説明できる。 6. 偽嚢胞を列挙し、病理組織学的特徴について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：嚢胞の病理組織学的分類 事前学修時間：40分 事後学修項目：配布資料の復習・整理 事後学修時間：60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング無し マルチメディア</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 401教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 顎・口腔領域の疾患</p>	*宇都宮 忠彦

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2020/09/01 (火) 1時限 08:40～09:40	嚢胞の分類	<p>1 主として軟組織に関連する疾患の病態・診断・治療 エ 軟組織に発生する嚢胞の病態・診断・治療 a 歯源性嚢胞</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅲ 顎・口腔領域の疾患 1 主として軟組織に関連する疾患の病態・診断・治療 エ 軟組織に発生する嚢胞の病態・診断・治療 a 歯源性嚢胞 b 非歯源性嚢胞 2 主として硬組織に関連する疾患の病態・診断・治療 オ 顎骨に発生する嚢胞性疾患の病態・診断・治療 b 非歯源性嚢胞</p>	*宇都宮 忠彦
2020/09/02 (水) 1時限 08:40～09:40	口腔顎顔面領域に発生する歯源性嚢胞と非歯源性嚢胞	<p>【授業の一般目標】 口腔顎顔面領域に発生する嚢胞の分類と診断および治療法を理解する</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 顎骨に発生する歯源性嚢胞の分類と診断および治療法を説明できる。 3. 顎骨に発生する非歯源性嚢胞について分類と診断および治療法を説明できる。 4. 口腔顎顔面領域の軟組織に発生する嚢胞の分類と診断および治療法について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：口腔顎顔面領域に発生する嚢胞の分類と診断および治療法 ・準備学修時間：60分 ・事後学修項目：授業時に配布した資料を用いた復習 ・事後学修時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無し 学修媒体：マルチメディア</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 401教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅲ 顎・口腔領域の疾患 2 主として硬組織に関連する疾患の病態・診断・治療 オ 顎骨に発生する嚢胞性疾患の病態・診断・治療 a 歯源性嚢胞</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅲ 顎・口腔領域の疾患 2 主として硬組織に関連する疾患の病態・診断・治療 オ 顎骨に発生する嚢胞性疾患の病態・診断・治療 b 非歯源性嚢胞 1 主として軟組織に関連する疾患の病態・診断・治療 エ 軟組織に発生する嚢胞の病態・診断・治療 b 非歯源性嚢胞</p>	*田中 茂男
2020/09/03 (木) 1時限 08:40～09:40	腫瘍の分類	<p>【授業の一般目標】 口腔・顎・顔面領域に発生する腫瘍を正しく診断・治療するために、腫瘍の分類及び病理組織学的特徴について学修する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 以下の学修目標と内容は基礎歯科医学教育及び臨床経験に基づいて設定する。 2. 非歯源性腫瘍を分類列挙し、病理組織学的特徴について説明できる。 3. 歯源性腫瘍を分類列挙し、病理組織学的特徴について説明できる。 4. 良性腫瘍と悪性腫瘍の鑑別点について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目： ・良性腫瘍と悪性腫瘍の鑑別点 ・歯源性腫瘍と非歯源性腫瘍の相違点 事前学修時間：40分 事後学修項目：配布資料の復習・整理 事後学修時間：60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング無し マルチメディア</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 401教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 7 主要な疾患と障害の病因・病態 ア 疾病の概念 g 腫瘍</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅲ 病因、病態 1 病因、病態</p>	*宇都宮 忠彦

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2020/09/03 (木) 1時限 08:40～09:40	腫瘍の分類	ク 腫瘍 a 概念 c 病因 d 分類と病態 e 組織学的構造 f 前癌状態、前癌病変 g 腫瘍と宿主の関係	*宇都宮 忠彦
2020/09/04 (金) 1時限 08:40～09:40	良性腫瘍の診断と治療	<p>【授業の一般目標】 顎口腔領域に発生する腫瘍の分類、特徴および治療について説明できるようになるために知識を習得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 「臨床経験に基づき以下の内容を教授する。」 2. 腫瘍の分類ができる。 3. 腫瘍について説明できる。 4. 腫瘍の診断ができる。 5. 腫瘍の治療法を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目:腫瘍の分類・診断・治療法を教科書を用いて学ぶ。 事前学修時間:30分 事後学修項目:授業での配布資料と教科書を照らし合わせた復習。 事後学修時間:60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング:無し 学修媒体:教科書、配布資料</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 401教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 顎・口腔領域の疾患 2 主として硬組織に関連する疾患の病態・診断・治療 カ 顎骨に発生する腫瘍および腫瘍類似疾患 a 歯原性良性腫瘍</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-2 口腔・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-4) 口腔・顎顔面領域の疾患 E-2-4) - (6) 腫瘍及び腫瘍類似疾患 ②口腔・顎顔面領域に発生する良性腫瘍の一般的な症状、診断法 (細胞診、組織診、画像診断) 及び治療法を説明できる。</p>	*濱野 美緒
2020/09/07 (月) 1時限 08:40～09:40	悪性腫瘍の診断と治療①	<p>【授業の一般目標】 顎口腔領域に発生する悪性腫瘍の分類、特徴および治療について説明できるようになるために知識を習得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 「臨床経験に基づき以下の内容を教授する。」 2. 悪性腫瘍の分類ができる。 3. 悪性腫瘍について説明できる。 4. 悪性腫瘍の診断ができる。 5. 悪性腫瘍の治療法を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目:指定教科書にて悪性腫瘍の分類・診断・治療法について熟読する 準備学修時間:30分 事後学修項目:講義で習得した内容を踏まえ、再度指定教科書を熟読しなおし知識を深める 事後学修時間:1時間</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 実施なし</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 401教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 顎・口腔領域の疾患 1 主として軟組織に関連する疾患の病態・診断・治療 オ 軟組織に発生する腫瘍および腫瘍類似疾患 d 舌癌</p>	*山本 泰
2020/09/08 (火) 1時限 08:40～09:40	悪性腫瘍の診断と治療②	<p>【授業の一般目標】 顎口腔領域に発生する悪性腫瘍の分類、特徴および治療について説明できるようになるために知識を習得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 「臨床経験に基づき以下の内容を教授する。」 2. 悪性腫瘍の分類が説明できる。</p>	*山本 泰

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2020/09/08 (火) 1時限 08:40～09:40	悪性腫瘍の診断と治療②	<p>3. 悪性腫瘍について説明できる。 4. 悪性腫瘍の診断ができる。 5. 悪性腫瘍の治療法を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目: 指定教科書にて悪性腫瘍の分類・診断・治療法について熟読する 準備学修時間: 30分 事後学修項目: 講義で習得した内容を踏まえ、再度指定教科書を熟読しなおし知識を深める 事後学修時間: 1時間</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 実施なし</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 401教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 顎・口腔領域の疾患 1 主として軟組織に関連する疾患の病態・診断・治療 カ 腫瘍・腫瘍類似疾患に対する診断・治療 a 外科療法</p>	*山本 泰
2020/09/09 (水) 1時限 08:40～09:40	顎変形症の診断と治療	<p>【授業の一般目標】 顎変形症の分類、診断、治療の基礎について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する 2. 顎変形症の分類を説明できる。 3. 顎変形症の診断し、説明することができる。 4. 顎変形症の治療法を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目: 第8章 各論 F 顎顔面の変形および発育異常を熟読する。 事前学修項目: 教科書の熟読する。 事前学修時間: 20分 事後学修項目: 授業ノート、教科書の確認をする。 事後学修時間: 50分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング: 無し 学習媒体: 授業スライド 参考図書: 医学書院「標準口腔外科学 第4版」、医歯薬出版「口腔外科学 第3版」、学建書院「口腔外科学 第5版」、「サクシント口腔外科学 第3版」</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 401教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 顎・口腔領域の疾患 2 主として硬組織に関連する疾患の病態・診断・治療 ア 顎顔面の変形をきたす疾患・病態・診断 a 顎変形症</p>	*大峰 浩隆
2020/09/10 (木) 1時限 08:40～09:40	顔面の神経疾患	<p>【授業の一般目標】 片側顔面痙攣、三叉神経痛の診断と治療を学修する</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する 2. 片側顔面痙攣を説明できる 3. 三叉神経痛を説明できる</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目: 脳神経の解剖 事前学修時間: 30分 事後学修項目: 授業時配布資料のレビュー 事後学修時間: 15分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 なし</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 401教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 顎・口腔領域の疾患 3 主として機能に関連する疾患の病態・診断・治療 イ 神経疾患の病態・診断・治療 h 顔面けいれん</p>	*牧山 康秀

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2020/09/10 (木) 1時限 08:40～09:40	顔面の神経疾患	<p>【国家試験出題基準（副）】</p> <p>歯科医学各論 各論Ⅲ 顎・口腔領域の疾患 3 主として機能に関連する疾患の病態・診断・治療 イ 神経疾患の病態・診断・治療 a 三神経痛</p> <p>【コアカリキュラム】</p> <p>E 臨床歯学 E-2 口腔・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-4) 口腔・顎顔面領域の疾患 E-2-4) - (9) 神経疾患 ②三叉神経痛の原因、症状及び治療法を説明できる。</p>	* 牧山 康秀

保健医療総論と健康管理

年次	学期	学修ユニット責任者
5年次	前学期	田口 千恵子 (衛生学)

学修ユニット 学修目標 (GIO)	保健医療総論と健康管理, 歯科英語
担当教員	*有川 量崇、田口 千恵子、パワー ウジャー、後藤田 宏也
評価方法 (EV)	平常試験①～⑧で評価する。

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2020/04/18 (土) 1時限 08:40～09:40	医の倫理	<p>【授業の一般目標】 歯科医師として必要な医の倫理, 自己決定権, 患者の権利と義務を学び, 医療人として社会における役割と責任について理解し, 修得できる。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. ニュルンベルグ綱領、ヘルシンキ宣言を説明できる。 2. ジュネーブ宣言、リスボン宣言、ヒポクラテスの誓いを説明できる。 3. インフォームドコンセント、セカンドオピニオンを説明できる。 4. 患者の権利と義務、自己決定権を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目: 医の倫理, 患者の権利に関する声明 事前学修時間: 30分 事後学修項目: 医の倫理, 患者の権利に関する声明 事後学修時間: 30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング無・教科書、資料 (国家試験過去問)</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 401教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 1 医の倫理と歯科医師のプロフェッショナリズム ア 医の倫理、生命倫理 a 患者の人権と医療</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 1 医の倫理と歯科医師のプロフェッショナリズム ア 医の倫理、生命倫理 b 医療者の論理 (ニュルンベルグ綱領、ジュネーブ宣言など) イ 歯科医師と患者・家族との関係 a 患者中心の歯科医療 (インフォームドコンセント、セカンドオピニオンなど) b 患者の権利</p> <p>【コアカリキュラム】 A 歯科医師として求められる基本的な資質・能力 A-1 プロフェッショナリズム A-1-1) 医の倫理と生命倫理 ①医の倫理と生命倫理の歴史経過と諸問題を概説できる。 ②医の倫理に関する規範・国際規範 (ヒポクラテスの誓い、ジュネーブ宣言、ヘルシンキ宣言等) を概説できる。 ③臨床 (生と死に関わる問題を含む) に関する倫理的問題を説明できる。 ④医学研究に関する倫理的問題を説明できる。 ⑤情報倫理に関わる問題を説明できる。 ⑥研究を、医学・医療の発展や患者の利益の増進を目的として行うよう配慮できる。 A-1-2) 患者中心の視点 ①患者の権利を説明できる。 ②患者の自己決定権を説明できる。 ③患者が自己決定できない場合の対応を説明できる。 ④インフォームド・コンセントの意義と重要性を説明できる。</p>	*有川 量崇
2020/05/07 (木) 1時限 08:40～09:40	予防と健康管理増進 (健康増進と疾病予防)	<p>【授業の一般目標】 健康の概念と健康増進、疾病予防、健康管理について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 健康の概念について説明できる。 2. プライマリーヘルスケアについて説明できる。 3. ヘルスプロモーションについて説明できる。 4. 地域保健について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目: 健康・疾病・予防における概念の学修 事前学修時間: 30分 事後学修項目: 健康・疾病・予防における概念の学修 事後学修時間: 30分</p>	田口 千恵子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2020/05/07 (木) 1時限 08:40～09:40	予防と健康管理増進(健康増進と疾病予防)	<p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学修媒体：教科書/PC/資料配布</p> <p>【学修方略(LS)】 講義</p> <p>【場所(教室/実習室)】 401教室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】 歯科医学総論 総論Ⅰ 保健・医療と健康増進 1 健康の保持・増進と社会保障の仕組み ア 健康・疾病・障害の概念 a 健康の概念</p> <p>【国家試験出題基準(副)】 歯科医学総論 総論Ⅰ 保健・医療と健康増進 1 健康の保持・増進と社会保障の仕組み エ 地域保健、地域医療 c ヘルスプロモーション</p>	田口 千恵子
2020/05/16 (土) 1時限 08:40～09:40	予防と健康管理増進(母子保健と学校保健)	<p>【授業の一般目標】 健康管理増進における母子保健、学校保健について理解する。</p> <p>【行動目標(SBOs)】 1. 母子保健について説明できる。 2. 母子保健法について概説できる。 3. 母子歯科保健について説明できる。 4. 学校保健について説明できる。 5. 学校保健安全法について説明できる。 6. 学校歯科保健について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：母子保健、学校保健において行われる事項の学修 事前学修時間：30分 事後学修項目：母子保健、学校保健において行われる事項の学修 事後学修時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学習媒体：教科書/PC/資料配布</p> <p>【学修方略(LS)】 講義</p> <p>【場所(教室/実習室)】 401教室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】 歯科医学総論 総論Ⅰ 保健・医療と健康増進 2 ライフステージ別にみた保健・福祉の制度 ア 母子保健、母子歯科保健と児童福祉 c 母子歯科保健の意義</p> <p>【国家試験出題基準(副)】 歯科医学総論 総論Ⅰ 保健・医療と健康増進 2 ライフステージ別にみた保健・福祉の制度 イ 学校保健、学校安全、学校歯科保健 b 学校保健の領域・内容</p>	田口 千恵子
2020/05/30 (土) 1時限 08:40～09:40	予防と健康管理増進(成人保健・健康日本21)	<p>【授業の一般目標】 健康管理増進のための成人保健、健康政策について理解する。</p> <p>【行動目標(SBOs)】 1. 第二次健康日本21について概説できる。 2. メタボリックシンドロームについて説明できる。 3. 禁煙指導について説明できる。 4. 生活習慣病について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：健康増進日本21の概略 事前学修時間：30分 事後学修項目：健康増進日本21の概略 事後学修時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学修媒体：教科書/PC/資料配布</p> <p>【学修方略(LS)】 講義</p> <p>【場所(教室/実習室)】 401教室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】 歯科医学総論 総論Ⅰ 保健・医療と健康増進 1 健康の保持・増進と社会保障の仕組み イ 口腔と全身の健康増進 e 禁煙指導・支援</p>	田口 千恵子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2020/05/30 (土) 1時限 08:40～09:40	予防と健康管理増進 (成人保健・健康日本21)	<p>【国家試験出題基準 (副)】</p> <p>歯科医学総論 総論 I 保健・医療と健康増進 2 ライフステージ別にみた保健・福祉の制度 エ 成人保健、成人歯科保健 a 現状、動向 b 特定健康診査、特定保健指導</p>	田口 千恵子
2020/06/22 (月) 1時限 08:40～09:40	チェアサイドの英会話	<p>【授業の一般目標】</p> <p>1. Endodontics & Operative Dentistry 2. Important Vocabulary</p> <p>【行動目標 (SBOs)】</p> <p>1. 医療英語、医療単語を理解し、話すことができる。 2. 国家試験の英語問題に対応できる。 3. 海外留学も視野にいた、医療英語を身につける。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・準備学修項目：一年生の教科書を熟読する。 ・準備学修時間：30分 ・事後学修項目：配布したプリントの見直し。 ・事後学修時間：30分 <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</p> <p>アクティブラーニング：無し 学習媒体：授業プリント配布</p> <p>【学修方略 (LS)】</p> <p>講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】</p> <p>401教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】</p> <p>必修の基本的事項 13 一般教養的事項</p> <p>ウ 歯科医療に必要な基本的医学英語</p>	パワー ル ウジャー ル
2020/06/23 (火) 1時限 08:40～09:40	チェアサイドの英会話	<p>【授業の一般目標】</p> <p>1. Prosthodontic Treatment 2. Important Vocabulary</p> <p>【行動目標 (SBOs)】</p> <p>1. 医療英語、医療単語を理解し、話すことができる。 2. 国家試験の英語問題に対応できる。 3. 海外留学も視野にいた、医療英語を身につける。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・準備学修項目：一年生の教科書を熟読する。 ・準備学修時間：30分 ・事後学修項目：配布したプリントの見直し。 ・事後学修時間：30分 <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</p> <p>アクティブラーニング：無し 学習媒体：授業プリント配布</p> <p>【学修方略 (LS)】</p> <p>講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】</p> <p>401教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】</p> <p>必修の基本的事項 13 一般教養的事項</p> <p>ウ 歯科医療に必要な基本的医学英語</p>	パワー ル ウジャー ル
2020/06/25 (木) 1時限 08:40～09:40	チェアサイドの英会話	<p>【授業の一般目標】</p> <p>1. Periodontal Treatment 2. Important Vocabulary</p> <p>【行動目標 (SBOs)】</p> <p>1. 医療英語、医療単語を理解し、話すことができる。 2. 国家試験の英語問題に対応できる。 3. 海外留学も視野にいた、医療英語を身につける。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・準備学修項目：一年生の教科書を熟読する。 ・準備学修時間：30分 ・事後学修項目：配布したプリントの見直し。 ・事後学修時間：30分 <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</p> <p>アクティブラーニング：無し 学習媒体：授業プリント配布</p> <p>【学修方略 (LS)】</p> <p>講義</p>	パワー ル ウジャー ル

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2020/06/25 (木) 1時限 08:40～09:40	チェアサイドの英会話	<p>【場所（教室/実習室）】 401教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 13 一般教養の事項</p> <p>ウ 歯科医療に必要な基本的医学英語</p>	バワール ウジャール
2020/07/07 (火) 1時限 08:40～09:40	保健医療関係法規 2（医療法等）	<p>【授業の一般目標】 歯科医師として必要な法と制度を学び、社会において医療従事者としての役割と責任について理解し修得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 医療法について理解できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：医療法 事前学修時間：180分 事後学修項目：医療法 事後学修時間：180分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 401教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 2 社会と歯科医療 イ 保健・医療・福祉・介護の制度と医療経済 b 医療法</p>	後藤田 宏也
2020/07/08 (水) 1時限 08:40～09:40	保健医療関係法規 3（地域保健法等）	<p>【授業の一般目標】 歯科医師として必要な法と制度を学び、社会において医療従事者としての役割と責任について理解し修得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 地域保健法について説明できる。 2. 保健所・市町村保健センターについて説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：歯科医師法他医療関係職種各身分法 ・準備学修時間：180分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 401教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論 I 保健・医療と健康増進 1 健康の保持・増進と社会保障の仕組み ウ 保健・医療・福祉・介護の法規と制度 f 地域保健関連機関</p>	後藤田 宏也
2020/07/11 (土) 1時限 08:40～09:40	予防と健康管理増進（産業保健・国際保健）	<p>【授業の一般目標】 産業保健と国際保健における口腔疾患の予防と管理・保健指導について理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 産業歯科保健について説明できる。 2. 国際保健における歯科の役割を説明できる。 3. 国際機関を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：産業保健と国際保健関連の基本 事前学修時間：30分 事後学修項目：産業保健と国際保健関連の項目 事後学修時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング無・教科書、資料（国家試験過去問）</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 401教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論</p>	*有川 量崇

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2020/07/11 (土) 1時限 08:40～09:40	予防と健康管理増進 (産業保健・国際保健)	<p>総論 I 保健・医療と健康増進 5 国際保健 ア 国際保健 b 国際保健、医療協力</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論 I 保健・医療と健康増進 2 ライフステージ別にみた保健・福祉の制度 ウ 産業保健、産業歯科保健 e 産業歯科保健の意義 c 業務上疾病、作業関連疾患 g 職業性歯科疾患 5 国際保健 ア 国際保健 a 世界の保健、医療の問題と方向性</p>	*有川 量崇
2020/07/25 (土) 1時限 08:40～09:40	予防と健康管理増進 (フッ化物応用)	<p>【授業の一般目標】 口腔疾患の予防におけるフッ化物応用について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. フッ化物応用による全身的応用法について説明できる。 2. フッ化物による局所的応用法について説明できる。 3. フッ化物応用による安全性について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：フッ化物の各種応用方法 事前学修時間：180分 事後学修項目：フッ化物の各種応用方法 事後学修時間：180分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学修媒体：教科書/PC/資料配布</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 401教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論 II 歯・歯髄・歯周組織の疾患 1 歯の硬組織疾患 イ 歯の硬組織疾患の予防・管理 d フッ化物応用</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 4 予防と健康管理・増進 ウ 予防手段 a フッ化物応用</p>	田口 千恵子
2020/07/27 (月) 1時限 08:40～09:40	医療統計学	<p>【授業の一般目標】 歯科疾患の予防・管理を行うために必要な、医療統計学について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 疫学の定義と目的について述べることができる。 2. スクリーニング検査について述べることができる。 3. 敏感度・特異度について理解できる。 4. 記述疫学、観察疫学 (コホート研究・患者対照研究)、介入疫学について理解できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：歯科疾患の統計指標 事前学修時間：30分 事後学修項目：歯科疾患の統計指標 事後学修時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング無・教科書、資料 (国家試験過去問)</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 401教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論 I 保健・医療と健康増進 6 疫学と調査 ア 疫学とその応用 c 統計解析</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論 I 保健・医療と健康増進 6 疫学と調査 ア 疫学とその応用 a 疫学の概念 d 因果関係の成立 e 観察研究、介入研究 f 臨床疫学</p>	*有川 量崇

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2020/07/27 (月) 1時限 08:40～09:40	医療統計学	<p>【コアカリキュラム】 B 社会と歯学 B-4 疫学・保健医療統計 B-4-1) 歯科疾患の疫学 ①疫学と根拠に基づいた医療(EBM)の概念を説明できる。 ②スクリーニング検査を説明できる。 ③歯科疾患の疫学的指標を説明できる。 ④診療ガイドラインを説明できる。</p>	*有川 量崇
2020/09/05 (土) 1時限 08:40～09:40	予防と健康管理増進(保健指導・口腔清掃)	<p>【授業の一般目標】 口腔疾患の予防と管理における口腔清掃と保健指導について理解する。</p> <p>【行動目標(SBOs)】 1. 栄養と食生活について説明できる。 2. 機械的清掃法・化学的清掃法について説明できる。 3. 口腔清掃方法について説明できる。 4. 口腔の沈着物について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：口腔清掃方法の違いと特徴 事前学修時間：180分 事後学修項目：口腔清掃方法の違いと特徴 事後学修時間：180分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：一部実習 学修媒体：教科書/PC/資料配布</p> <p>【学修方略(LS)】 講義</p> <p>【場所(教室/実習室)】 401教室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】 必修の基本的事項 4 予防と健康管理・増進 ウ 予防手段 c 口腔清掃</p> <p>【国家試験出題基準(副)】 歯科医学各論 各論II 歯・歯髄・歯周組織の疾患 3 歯周疾患 イ 歯周疾患の予防・管理 f 生活習慣指導 1 歯の硬組織疾患 イ 歯の硬組織疾患の予防・管理 e 食生活指導 g 歯の変色・着色予防</p>	田口 千恵子

正答率8割問題解説

年次	学期	学修ユニット責任者
5年次	前学期	*清水 武彦 (小児歯科学)

学修ユニット 学修目標 (GIO)	過去問題のうち正答率が高い問題を予習学修し、修得する。
担当教員	*清水 武彦、*瀧上 真奈、*有川 量崇、*飯島 守雄、*高井 英樹、*下坂 典立、*山本 泰、*神谷 直孝
評価方法 (EV)	平常試験⑨A-Dで評価する。

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2020/05/11 (月) 1時限 08:40~09:40	基礎2 生理学	<p>【授業の一般目標】 臨床実習で遭遇する症例の問題解決と円滑な臨床実習を行うために、歯科医学の科学的根拠に基づいた生理学的知識を修得し、国家試験問題の解決方法を理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 循環と呼吸の調節機構を説明できる。 2. 内分泌系による恒常性の維持メカニズムを説明できる。 3. 神経系による恒常性の維持メカニズムを説明できる。 4. 感覚の伝導と成立を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：8割問題の復習 ・事前学修時間：30分 ・事後学修項目：8割問題の再復習 ・事後学修時間：15分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学修媒体：プリント配布</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 401教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 5 人体の正常構造・機能 ア 全身・口腔の構造と機能 e 器官系 (骨格系 (関節を含む)、筋系、呼吸器系、循環器系 (脈管系)、消化器系 (歯および唾液腺を含む)、造血器系、泌尿器・生殖器系、神経系、内分泌系、感覚器系)</p>	加藤 治
2020/05/12 (火) 1時限 08:40~09:40	基礎2 生化学・ 分子生物学	<p>【授業の一般目標】 臨床実習で遭遇する症例の問題解決と円滑な臨床実習を行うために、歯科医学の科学的根拠に基づいた生化学的知識を修得し、国家試験問題の解決方法を理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 生命を構成する基本物質を説明できる。 2. 細胞の構造と機能を説明できる。 3. 遺伝子からタンパク質が合成されるまでの過程を説明できる。 4. 情報伝達機構、細胞外基質を説明できる。 5. 炎症の機序、骨代謝を説明できる。 6. 歯の硬組織や唾液の成分、それらの機能を説明できる。 7. 齶蝕や歯周疾患の成り立ちを説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：8割問題の復習 ・事前学修時間：30分 ・事後学修項目：8割問題の再復習 ・事後学修時間：15分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学修媒体：プリント配布</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 401教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 5 人体の正常構造・機能 ア 全身・口腔の構造と機能 a 生体構成成分の構造・機能</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項</p>	竹内 麗理

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2020/05/12 (火) 1時限 08:40～09:40	基礎2 生化学・分子生物学	5 人体の正常構造・機能 ア 全身・口腔の構造と機能 b ゲノム、遺伝子、染色体 c 細胞・細胞小器官の構造と機能	竹内 麗理
2020/05/13 (水) 1時限 08:40～09:40	基礎3 感染免疫学	<p>【授業の一般目標】 臨床実習で遭遇する症例の問題解決と円滑な臨床実習を行うために、歯科医学の科学的根拠に基づいた微生物および免疫学的知識を修得し、国家試験問題の解決方法を理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 細菌・真菌・ウイルス感染症の種類と起因する微生物を説明できる。 2. 感染経路と感染成立までの過程を説明できる。 3. 免疫担当臓器、細胞について説明できる。 4. 自然免疫・獲得免疫について説明できる。 5. 免疫不全・アレルギー・自己免疫疾患について説明できる。 6. 細菌・真菌・ウイルスの基本的性状および関連する疾患を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：8割問題の復習 ・事前学修時間：30分 ・事後学修項目：8割問題の再復習 ・事後学修時間：15分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学修媒体：プリント配布</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 401 教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 7 主要な疾患と障害の病因・病態 ア 疾病の概念 e 感染症</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 5 人体の正常構造・機能 イ 全身・口腔の生態系 a 常在微生物叢 b 微生物の構造・一般性状 c プラーク(口腔バイオフィルム) ア 全身・口腔の構造と機能 f 免疫 (免疫担当細胞、自然免疫、体液性免疫、細胞性免疫、粘膜免疫)</p>	栞原 紀子
2020/06/05 (金) 1時限 08:40～09:40	基礎4 解剖学	<p>【授業の一般目標】 臨床に必須の頭頸部の骨系、筋系、神経系、脈管系の構造を説明できる。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 頭蓋骨の構造を説明できる。 2. 頭頸部の筋の構造を説明できる。 3. 脳神経の構造を説明できる。 4. 脈管系の構造を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：解剖学の教科書において頭頸部の骨系、筋系、神経系、脈管系を復習しておく。 ・事前学修時間：30分 ・事後学修項目：8割問題を再復習する。 ・事後学修時間：15分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 401 教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 5 人体の正常構造・機能 ア 全身・口腔の構造と機能 e 器官系 (骨格系 (関節を含む)、筋系、呼吸器系、循環器系 (脈管系)、消化器系 (歯および唾液腺を含む)、造血器系、泌尿器・生殖器系、神経系、内分泌系、感覚器系)</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 6 人体の発生・成長・発達・加齢 ウ 口腔・顎顔面の成長・発育 a 歯・歯列の発育 (発育時期、萌出時期・順序、歯の脱落・交換時期、歯齢) b 上顎骨・下顎骨の成長の特徴 (成長の時期、骨形成様式) 歯科医学総論 総論II 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢 5 歯と歯周組織の構造 ア 歯の形態 a 基本事項</p>	五十嵐 由里子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2020/06/05 (金) 1時限 08:40～09:40	基礎4 解剖学	6 口腔・顎顔面の機能 ア 感覚 b 味覚、嗅覚 エ 発声、構音 b 分泌機構 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-2 口腔・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-1) 頭頸部の基本構造と機能 ②頭蓋骨の構成と構造を説明できる。 ③咀嚼筋、表情筋及び前頸筋の構成と機能を説明できる。 ④頭頸部の脈管系を説明できる。 ⑤脳神経の走行、分布及び線維構成を説明できる。 ⑥顎関節の構造と機能を説明できる。 ⑧咀嚼の意義と制御機構を説明できる。 ⑨嚥下の意義と制御機構を説明できる。 ⑩咽頭と喉頭の構造と機能を説明できる。	五十嵐 由里子
2020/06/06 (土) 1時限 08:40～09:40	基礎5 歯科生体材料学	【授業の一般目標】 臨床実習で遭遇する症例の問題解決と円滑な臨床実習を行うために、歯科医学の科学的根拠に基づいた材料学的知識を修得し、国家試験問題の解決方法を理解する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 金属材料、高分子材料、セラミック材料および複合材料の性質について説明できる。 2. 歯科生体材料の力学的、物理的、化学的性質および生物学的性質について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：8割問題の復習 ・事前学修時間：30分 ・事後学修項目：8割問題の再復習 ・事後学修時間：15分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学修媒体：配布プリント 【学修方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 401教室 【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 12 治療の基礎・基本手技 セ 歯科材料・機器 a 基本的性質	谷本 安浩
2020/06/08 (月) 1時限 08:40～09:40	基礎6 組織学	【授業の一般目標】 臨床実習で遭遇する症例の問題解決と円滑な臨床実習を行うために、歯科医学の科学的根拠に基づいた組織学的知識を修得し、国家試験問題の解決方法を理解する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 4大組織 (上皮組織、結合組織、筋組織、神経組織) について説明できる。 2. 歯の構造について説明できる。 3. 口腔組織の構造について説明できる。 4. 歯の発生について説明できる。 5. 顎顔面の発生について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：8割問題の復習 ・事前学修時間：30分 ・事後学修項目：8割問題の再復習 ・事後学修時間：15分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無し 学修媒体：パワーポイントスライド他 【学修方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 401教室 【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 5 人体の正常構造・機能 ア 全身・口腔の構造と機能 d 組織 (上皮組織、結合 (支持) 組織 (血液を含む)、筋組織、神経組織) 【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 5 人体の正常構造・機能 ア 全身・口腔の構造と機能 e 器官系 (骨格系 (関節を含む)、筋系、呼吸器系、循環器系 (脈管系)、消化器系 (歯および唾液腺を含む)、造血器系、泌尿器系・生殖器系、神経系、内分泌系、感覚器系)	玉村 亮
2020/08/19 (水)	基礎7 薬理学	【授業の一般目標】	松本 裕子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
1時限 08:40～09:40	基礎7 薬理学	<p>臨床実習で遭遇する症例の問題解決と円滑な臨床実習を行うために、歯科医学の科学的根拠に基づいた薬理学的知識を修得し、国家試験問題の解決方法を理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 薬物の作用機序について説明できる。 2. 薬物動態について説明できる。 3. 薬物の副作用について説明できる。 4. 薬物の相互作用について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：8割問題の復習 ・事前学修時間：60分 ・事後学修項目：授業時配布プリントの内容確認と整理 ・事後学修時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 ・アクティブラーニング：無 ・学修媒体：マルチメディア，プリント配布</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 401教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 1 2 治療の基礎・基本手技 コ 薬物療法 a 薬理作用（薬力学、主作用および副作用を含む）</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 必修の基本的事項 1 2 治療の基礎・基本手技 コ 薬物療法 b 薬物動態 c 薬物投与（連用および併用を含む）</p>	松本 裕子